2巻1号

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

# 創刊以來十九年！

## 「處女の友」と姉妹關係の週刊新聞

# 婦女新聞

定價　五週(五部)送料共三十錢△十週(十部)五十八錢△二十週(二十部)一圓十五錢△三十週(三十部)一圓七十錢△五十週(五十部)二圓八十錢(總て送料共)

『處女の友』は處女會々員の修養を目的として發行せらるゝ少女雜誌なり。されば、あまり意味の深遠なるもの、又は社會に對する警醒的文章、或は處女團體の施設に關する評論彙報等は『處女の友』に掲載せられず。而してそれ等を掲載して處女會の指導に任ずる人の參考に資するは婦女新聞なり。婦女新聞は明治三十三年創刊の週刊新聞にして、爾來十九年、毎號皇后陛下(東宮妃の御時代より)の台覽を忝うし、全婦人界の公益機關として一貫の主義の下に努力し、特に地方婦人の向上發展の爲めに盡せり。希はくは全國各町村處女會の幹部の人々が、本紙を必讀せられんことを。處女會中央部の消息を最も精確に報道するは本紙なり。本年十月以後の婦女新聞には、全國各地の處女會及び婦人團體の事績を連載せり。

東京市牛込區
津久戸町二四
婦女新聞社
電話番町一三〇六番
振替東京二八〇七番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

# 謹賀新年

大正八年一月

處女會中央部理事（イハロ順）

鳩山春子　穗積松子

嘉悅孝子　吉岡彌生

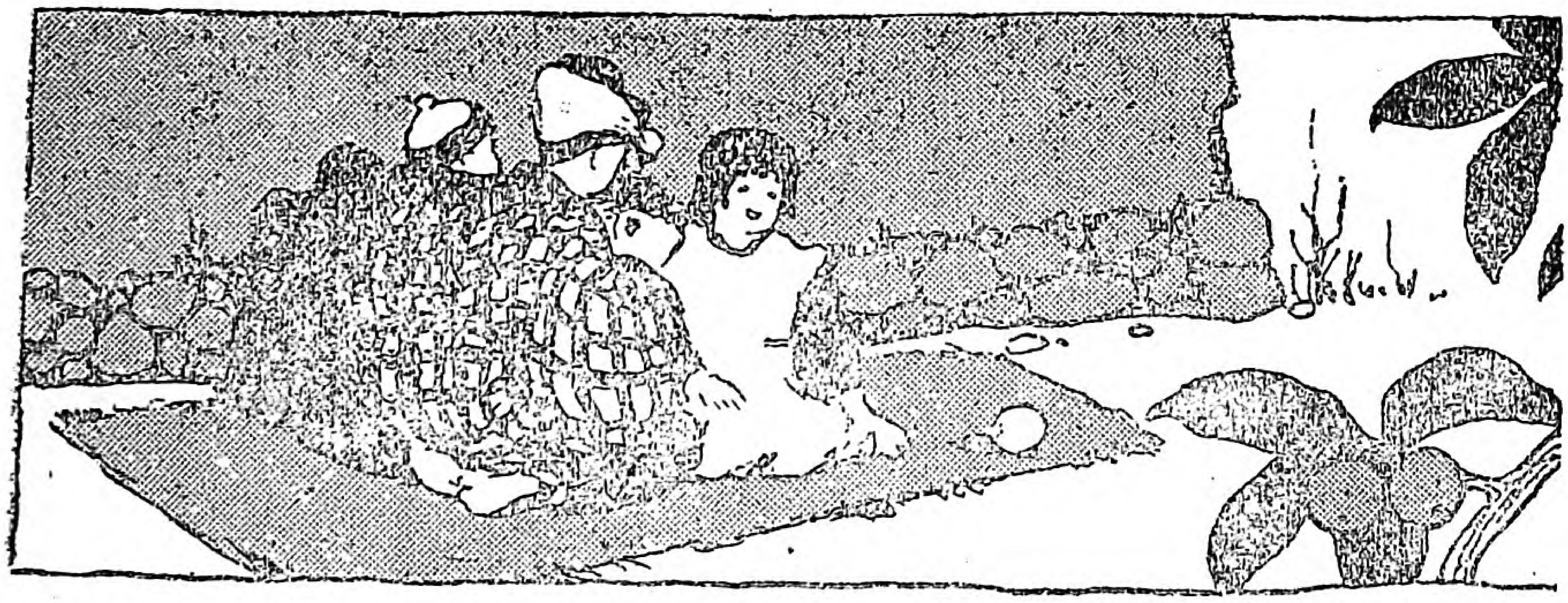
棚橋絢子　山脇房子

福島四郎　國府種德

跡見花蹊　天野藤男

三輪田眞佐子　下田歌子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



處女の友

# 新年號目次 第二卷第一號

□表紙畫□繪


□表紙畫……田代紫光筆
□題字……跡見花蹊筆
□光り輝く戰勝國の元首……(口繪)
□地方處女會の活動……(口繪)


□卷頭

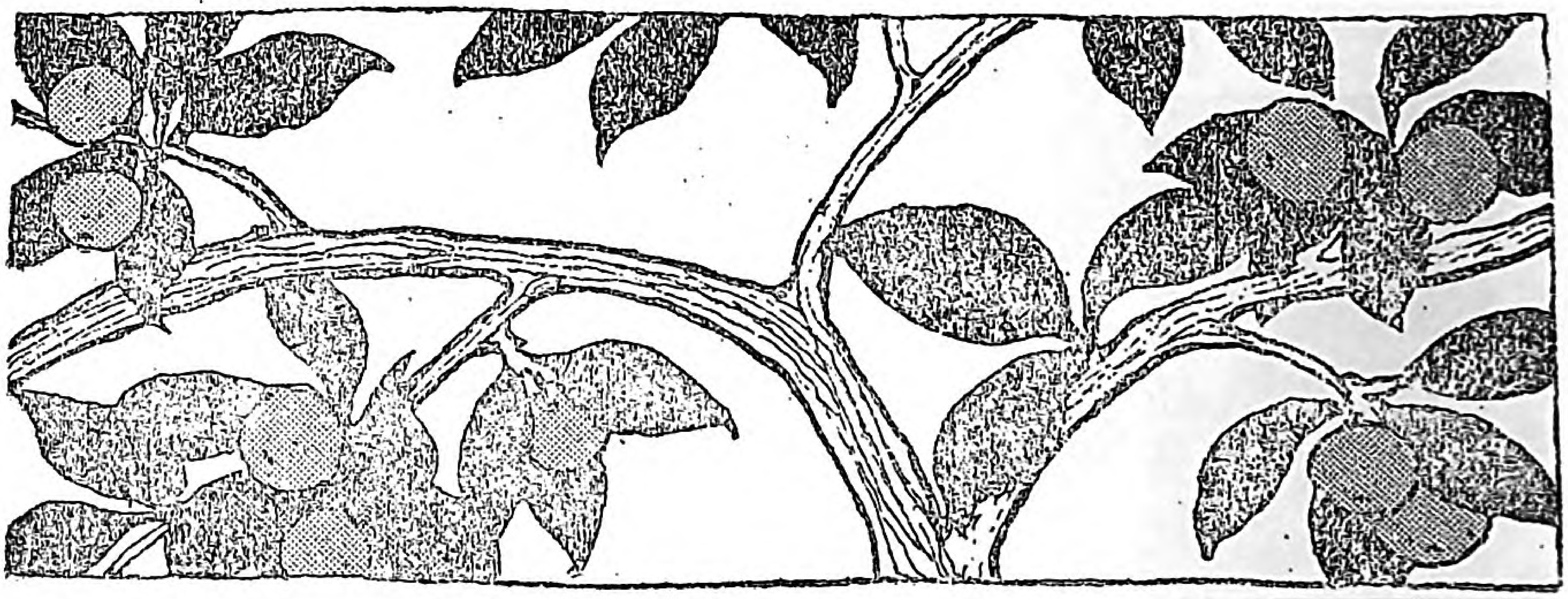

□地方處女十訓……一


□記事


□天皇陛下癈兵院に九官鳥を下し賜ふ……二
□平和の初日出……四
□處女會の發達を望む……文部次官 南弘……八
□五節句と田舍の娛樂……三輪田高等女學校敎頭 三輪田元道……一〇
□幸不幸の岐れ路……山脇高等女學校長 山脇房子……一三
□私の少女時代……日本女子商業學校學監 嘉悅孝子……一四
□樂しい田舍のお正月……東京女子醫學專門學校長 吉岡彌生……一六
□大正七年の出來事……一八
□妻のつとめ(敎文註解)……貝原益軒……二〇
□家庭展覽會を見るの記……婦人記者……二三



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN




□お正月のお料理……二六
□戰後の田園婦人……内務省囑託　天野藤男……二九
□我が占領地に就て……三六
□岡部氏と小作人（農村美談）……三九
□育兒と子守……中村春吉……四二
□數へ草……四一
□面白い處女會の催し……四五
□家庭お伽噺　雀の恩返し（下）……四六
□高須かつ子孃（孝女訪問記）……記者……四八
□電話交換手（東京婦人職業）……婦人記者……五〇
□故里の友へ……橘きみ子……五〇
□婦人講談　妻返し松……大久保四州……五三
□滑稽笑談　三十一文字の夫婦喧嘩……天保老人……五八
□文學あそび……六〇
□五十四年間貞操を守つた貞婦鶴女の話……六一
□お話の泉……六三
□優良村（鳥取縣西伯郡大和村）の處女會と談話會……六五
□誰にも出來るしみぬき法……六五
□お正月のあそび……（六七）
□處女文藝……（七〇）
□懸賞募集及判じ繪答發表……（七一）
□處女新聞……（二九）
□處女倶樂部……（七一）
□編輯便り……（七二）



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

賜天覽
賜台覽

前內務大臣　水野錬太郎序
前文部大臣　岡田良平序
樞密顧問官　一木喜德郎序
前文部次官　田所美治序
宮內兼內閣兼內務省囑託　國府種德序
內務省囑託　天野藤男著

# 青年團及處女會

四大特色
材料豊富
文章簡明
統計確實
識見卓越

菊版四五〇頁
箱入美本
定價二圓五十錢
送料十二錢

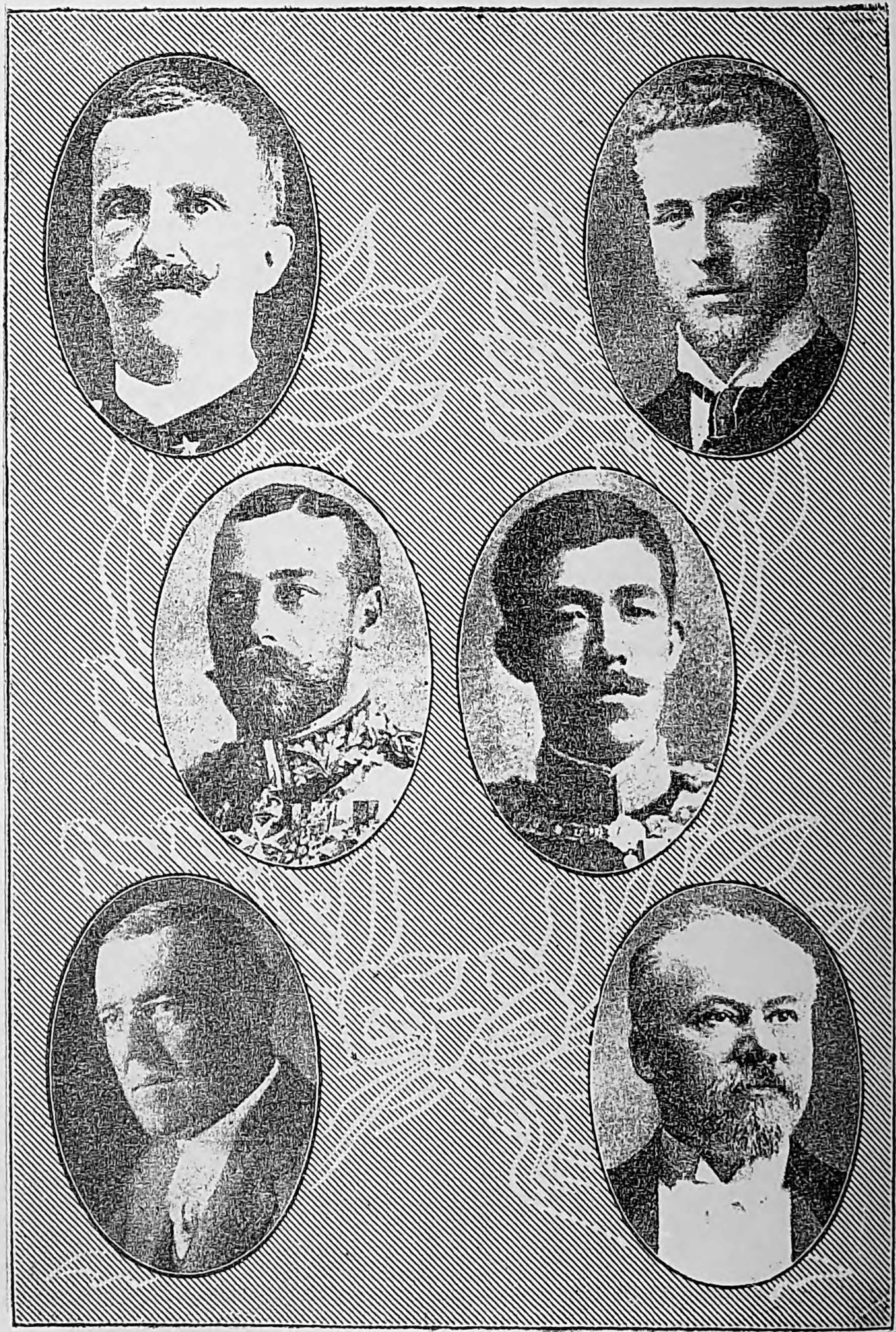
忽三版

青年團の研究者にして處女會の唱道者として識られたる著者が多年の苦心に成れる著述でありまして青年會處女會の歷史から組織經營の方法實例事業の種類優良團體事蹟など正確なる事實に就き掌に取る如く簡明に叙述してありますので青年會處女會の指導者には此上もない參考書であります。外國の青年會處女會の實例や青年團の新研究などは他の書物に見ることが出來ない文字であります。

東京市本鄕元町二ノ六六
發行所　丙辰出版社
振替東京三三三〇〇番


Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

光り輝く戰勝國の元首



白耳義皇帝陛下

伊太利皇帝陛下

天皇陛下

英國皇帝陛下

佛國大統領閣下

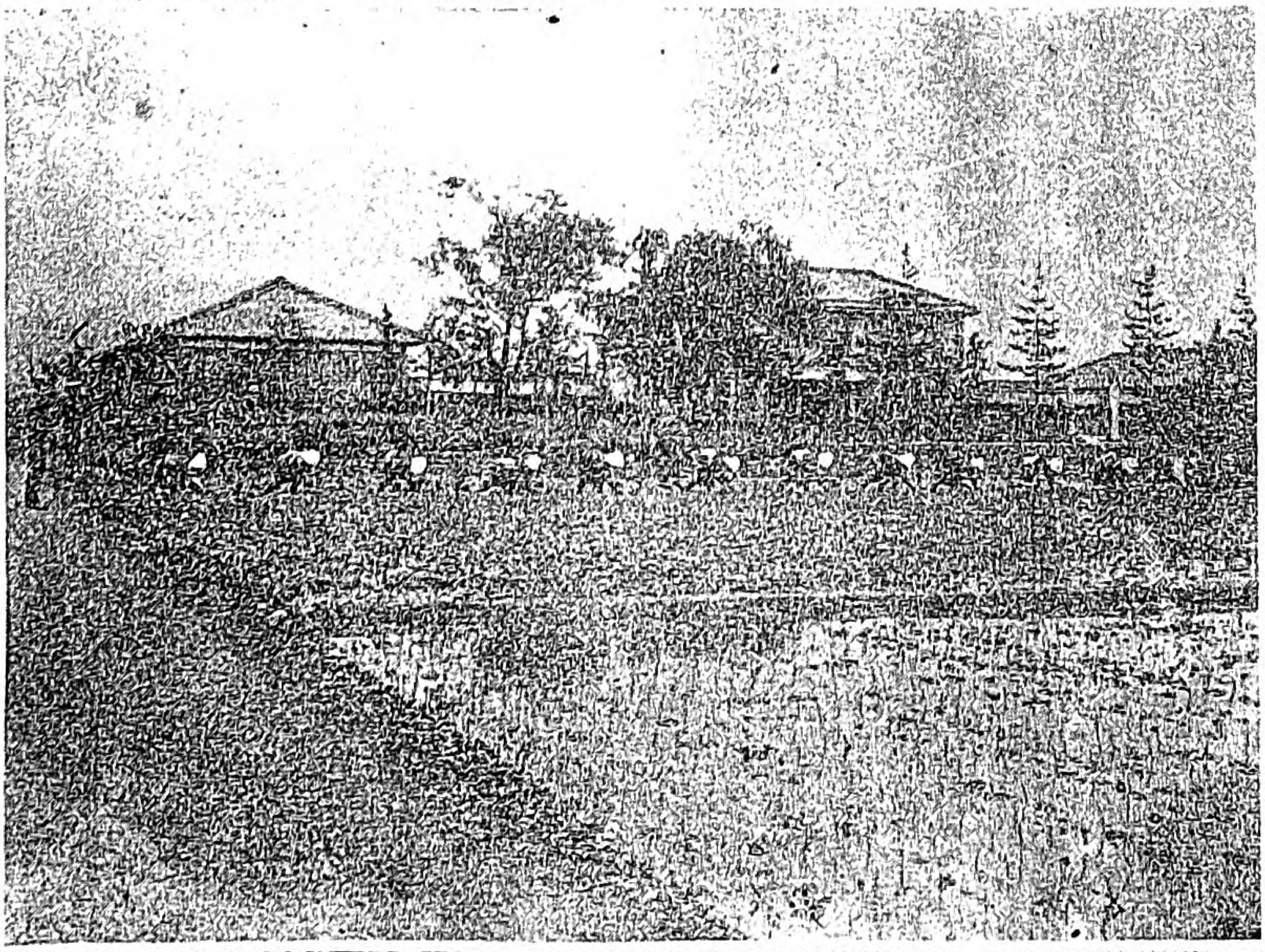
米國大統領閣下

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

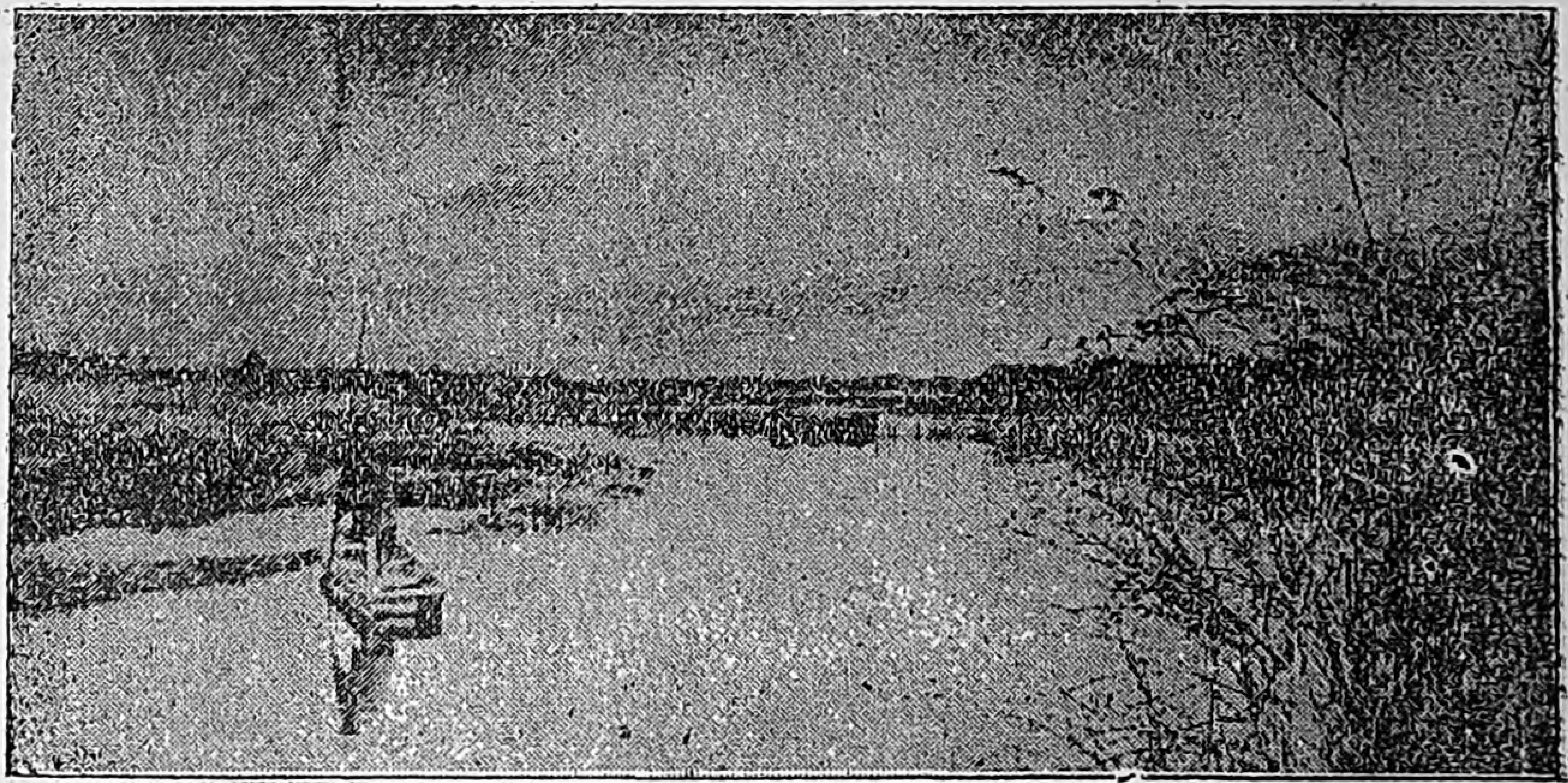
# 地方處女會の活動

靜岡縣庵原郡庵原村處女會第十四回屑糸整理講習會修了紀念



滋賀縣蒲生郡金田村處女會員の模範田植の光景

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



勅題　朝晴雪

# 處女の友　新年號

## 地方處女十訓

一　愛敬は處女の美德なり常に此心を以て他に接すべし。

二　質素は農婦の生命なり都市の惡風に染むこと勿れ。

三　勤勞は人生の本務なり處女時代より此風習を養ふべし。

四　長上を敬重し幼弱を愛護し力めて家庭の和樂を媒助すべし。

五　協同して事を爲すの修養を積み社交生活に練熟すべし。

六　家事に從事するのみならず男子の社會的事業に內助の功を完うすべし。

七　博愛慈善は女子の至情なり此心を擴充して廣く萬物を愛護するの精神を養ふべし。

八　虛榮嫉妬偏拗は女子の陷り易き缺陷なり常に反省して婦德の向上に努むべし。

九　溫順なる妻母となるに先つて完全なる女及人とならざるべからず。

十　夫の良妻となり家の賢母となると共に町村の賢婦となり國家の良母となるに努めよ。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

# 天皇陛下癈兵院に九官鳥を下し賜ふ

大正七年十一月廿五日　皇后陛下には、府下巣鴨なる癈兵院に行啓遊ばされ、名譽の負傷をなし、收容せられて居ります所の癈兵に對し、親しく種々の御下問がございました。癈兵は目のあたり陛下の御姿を拜せる上に、忝き御下問に浴し、一人として感涙せざるものはございませんでした。

現在癈兵院に收容せられて居ります癈兵は八十餘名ございまして、皆日露戰役に出陣し、お國の爲に名譽の負傷をしたものでありますが、其の中兩眼の明を失ひました癈兵の身の上を、殊に哀れに思召し、種々御慰の御言葉を



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

賜つたのでございます。

其の翌くる日、天皇陛下より、癈兵院長を御召の御沙汰がございました。院長が恐懼して參內致しますと、陛下には侍從の御手を經て、兩眼を失ひたる癈兵の慰籍の料にせよとの畏き御沙汰と共に、御愛養の九官鳥を下し賜りました。九官鳥は、よく人の聲を聞き分け、よく人眞似をする美しい鳥でございます。

皇后陛下が癈兵院に行啓遊ばされました其の翌日に、天皇陛下より九官鳥を下し賜りましたことは、何たる畏きことでございませうぞ。今更ながら兩陛下の御仁德の深く高きに感淚に咽んだのでございます。（某宮內大官謹話）



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

# 平和の初日出

＝戰後の第一年を迎へんとして＝

## 一　光り輝く大正八年

五ケ年に渉つた歐洲戰爭も、聯合國が力を協せて一心に攻めたてた爲に、一番の敵の獨逸が、とう〳〵息ついて、世界をひと呑みにしやうとした皇帝も、人民から追ひ立てられ、頭を抱へて遁げ出してしまひ、世界は暗闇から太陽が輝いたやうに、急に明るく陽氣になつて來ました。日本も戰爭の仲間入をした爲に、今度の講和會議には大使を派遣することになり、愈々我邦も世界の大日本となりました。戰には勝ちお米は穫れる、目出度い年の暮を送つて、光り輝く大正八年を、皆樣と一所に喜び迎へませう。

## 二　提灯行列の裏面

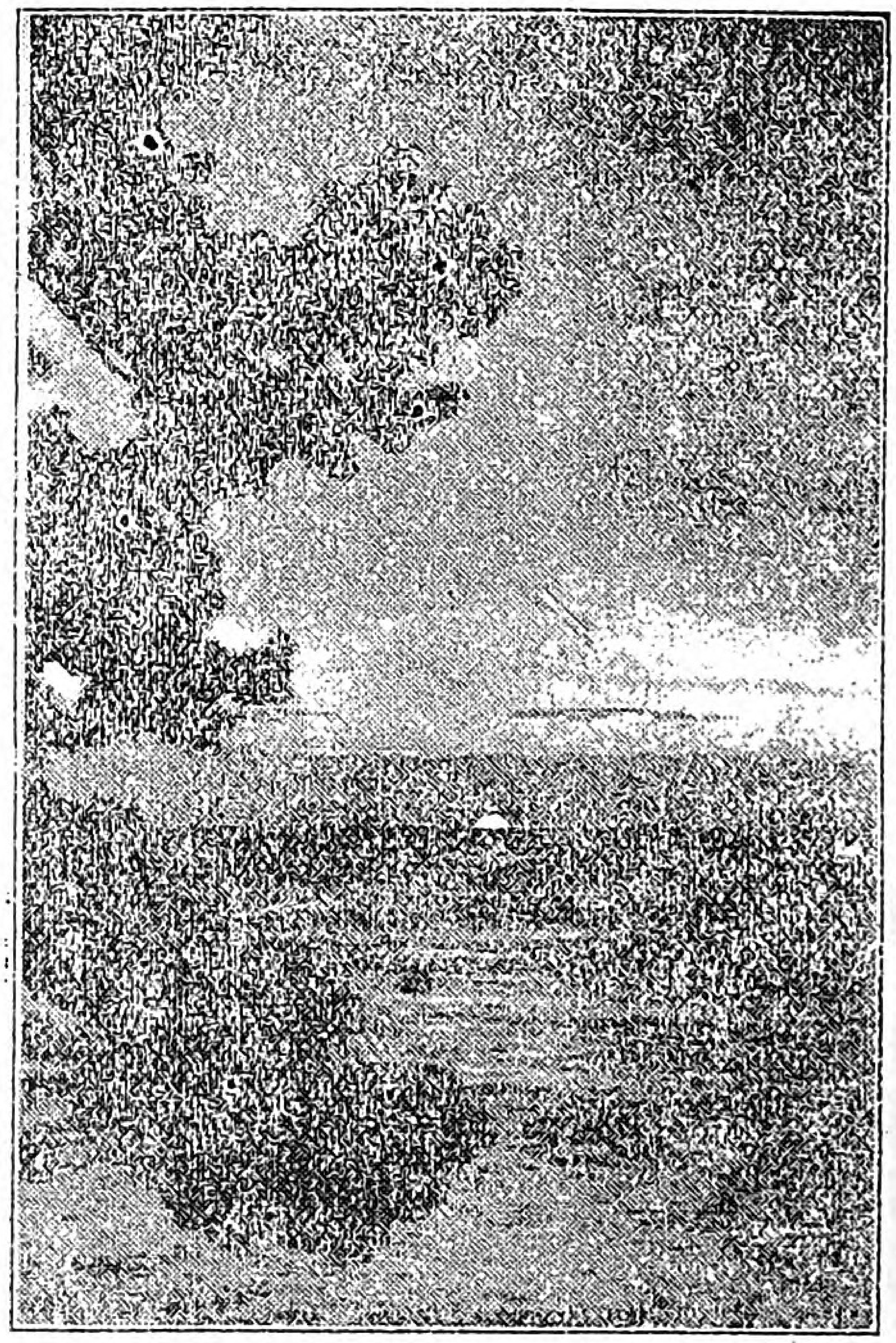
然し皆樣よ此の勝利と平和は高い〳〵代價を拂つて得たものであることを知らねばなりませぬ。七百萬人といふ貴い人の命は、此の戰爭の爲に失はれ、三千億といふ莫大なお金が消えてしまひました。お金は取り返すことも出來ませうが、冷めたくなつた人の骨がどうして生き返りませう。百までも、九十九までも長生きしたいと思ふのが萬人の願ひ、其が病氣もせずに、しかも血氣盛りな壯年や青年がたつた五年間に、七百萬人も死んだ



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

とは、何んといふ、いたましい、むごたらしいことでせう。

幸にも日本は戰爭の中心から懸け離れてゐた爲に、澤山の兵隊を動かしはしませんでしたが、其でも青島の戰と、地中海の海戰と、西比利亞出征の爲に、二千人に近い同胞が死傷して居ります。皆様の御村にも、又御親類の中にも、死傷せられた方があるかも知れませぬ。提行行列、旗行列と表で噪いで居ります時に、くらい佛壇に火をともし、涙の中に亡き人の週忌を營んでゐる家もありませう。只譯もなく勝利に狂ひ噪ぐことは、愚かなことであります。



平和の陽光

## 三　正義が勝ちました

然し敵側の獨逸、墺太利を始めとして、味方の佛蘭西や英吉利や露西亞に比べますと、日本の不幸は、小さく軽いと考へねばなりません。今敵味方の死傷を擧げてみませう。

◎聯合國側

| | 戰死 | 傷兵 |
|---|---|---|
| 露西亞 | 二百二十五萬人 | 百七十一萬九千人 |
| 佛蘭西 | 百三十六萬三千五百人 | 九十五萬一千人 |
| 英吉利 | 卅萬七千五百人 | 二十三萬一千人 |



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

| | | |
|---|---|---|
| 伊太利 | 十五萬七千人 | 十一萬人 |
| 塞耳比亞 | 十六萬五千人 | 六萬三千人 |
| 白耳義 | 七萬五千人 | 四萬九千人 |
| 羅馬尼 | 十萬人 | 六萬人 |
| 合計 | 四百三十三萬七千人 | 三百二十一萬人 |

◎同盟國側

| | | |
|---|---|---|
| 獨逸 | 百三十二萬七千人 | 九十五萬三千人 |
| 墺太利 | 百七十萬七千五百人 | 七十九萬九千人 |
| 土耳古 | 二十二萬五千人 | 十五萬七千人 |
| 勃牙利 | 三萬七千五百人 | 二萬七千人 |
| 合計 | 二百六十六萬七千人 | 百九十三萬六千人 |

此でみますと、今度の戰爭に七百萬の青年が仆れ、五百萬人の負傷者が出來た譯であります。七百萬人と申しますと日本の人口の約一割に當ります、又日本には、十二歳から二十五歳までの男子が、六百萬人ありますが、其がみんな死んでも、今度の戰病死者にはかなひません。其の中でも佛蘭西は人口の少い國で、丁度五軒に一人づゝ位死んでゐることになります。

親に別れた乳呑子供、一人息子を失つた老いた親、夫に別れた妻、兄を失つた弟、又は親子共に戰死して飢に泣く妻と家族など、戰爭は血と涙とのかたまりなのです。

是も皆獨逸が國を守る以外に、澤山の兵を養つて世界を苦しめようとしたから起つたこと、聯合國は堅く手を握り合ひ、援け合ひ、勵まし合ひ、どんな苦しみもに打克つて、國を守らねばならぬ敵を懲らしめねばならぬと、兵士は勿論老人や子供も、男も女も一心になつて働いたからこそ、最後の勝利が聯合軍に輝いたのです。

つまり聯合軍の勝利は、正義の勝利であります正義が平和を生んだのであります。正しい人道が勝つて、人を苦しめる惡魔が滅びたのであります

## 四　世界皆睦まじく

今度佛蘭西のヴエルサイユに開かれる講和會議は世界の今度の戰爭の正しい審判をなし、戰爭



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

の跡始末をする重大な相談で、世界の平和を保證し、其の手段方法を相談する會議とも考へられます。是からの世界の國々は、お互に相談し合つて平和に、仲睦しく、一人々々幸福な自由な生涯が送られるようになることゝ思ひます。いやさうしなければならぬ。さうするのが、國の務めで、又人の義務であり、人道であると考へます。

軍艦も必要であります。大砲もなくてはなりませぬ。皆様のお兄様や叔父様が、軍隊に入つて調練なさるのも、日本の國を守る爲なのです。日本の國を脅かし、同胞を苦しめる國を防ぐ爲めなのであります。自分の國ばかり強くなつて、他の國を陷れやうとする爲の軍人ではありませぬ。大砲やサーベルは、人を殺す武器ではなく、人を救ひ國を守る武器であります。各國が皆他の國々と敬し合ひ、睦み合ひ、其の國々を守つてゆきさへすれば、貴い人の命を傷け合ひ、殺し合ふやうな殘酷なことは起らぬ筈であります。西洋人の血も印度人の血も赤いのです。

## 五　四海同胞の理想

私共は、今度の戰爭は、世界の人達をして兄弟の如く仲睦しく導く媒介とならねばならぬと信じます。血を流し合つた喧嘩ほど、仲直りした後の交りが濃くなると申します。あとに殘つた人の幸福の爲に、私達の同胞は、血を流し、戰爭の犧牲になつて呉れたのです。皆様と共に、世界の平和の瑞兆を祝します。

畏くも　明治天皇は嘗て

四方の海皆はらからと思ふ世に
　なぞ波風の立ちさわぐらむ

と御詠遊ばされたのでございます。



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

# 處女會の發達を望む

文部次官　南　　弘

一夜南先生を新宿のお邸に御訪しますと、お忙しい中を快よく御遣ひ下すつて、戰後の敎育問題から文學、美術、社會改良など各方面に渉つてお話し下され、御暇いたしましたのは十時過でありました。次に掲げますのは、處女會に就ての先生の御話の一節であります。(泊雲)

## □處女會の必要

何んとしても、青年と處女との健全なる發達を促すことは、一國を繁榮にする基である。青年團は大分古くから發達して、世間にも紹介され、當局からも奬勵されたのであるが、處女會の發達は最近のことであるから青年團體程に、社會から注目されてゐないようである。然し處女會の必要なることは、青年團と同樣、或は其以上であらう。如何となれば、將來の母となるべきものが、自修勉勵する機關で、其の健全に發達すると否とは、一國兒女の將來に大影響を來たすからである。

## □時勢と婦人

何れの國でも婦人は男子に一歩後れて歩んで來た。是れ男子は社會的に活動するのが生命で、婦人は家庭に在つて內助貢献するが爲であつた。夫婦の分別も男女の性狀の相異も此に基くことが多い。

然し文明の進歩に伴ひ、職業の範圍が擴張され、人口の增殖其他の爲に、婦人の結婚難が招來され、又一般に生活の競爭が激しくなり來つた今日に於ては、婦人



Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

も時勢に順應する相當な覺悟を要するに至つた。即ち從來の如く、只夫に隷屬して家庭內の事務を處理してゆくのみでは、不安心を感ずる場合が生じた。仍で將來の婦人は今少しく智識を磨き、身體を鍛へ、社會的智識を涵養するの必要を感ずる。婦人にふさはしい職業に從事するのも結構であるし、特殊の技術を覺えて萬一の場合に處する覺悟を强くすることも奬勵すべきである。

## □婦人の本分

只どこまで婦人の地位機能が擴充されるか、擴充すべきかは、大なる考慮を要する問題である。英米の如く婦人に參政權を與へ政治の方面に迄男子と相爭ふようになることが、果して婦人の進步か、婦人の幸福か、又男子の幸福かといふことは、大問題である。一國各々其の國情を異し、風俗習慣も一樣でない。我邦婦人の指導に當る人は、能く此の點に考慮を要する。

## □處女會と工女問題

處女會は義務敎育修了後の女子の智德自習機關であるから、能く此の精神に基いて修養を勵み、青年團とも連絡を保ち、家業に精勵し、町村の開發をも心掛けねばならぬ。殊に近年社會の注意を惹くに至つた工女問題の如き、工場法に安堵し、工場主に信賴する以外に、工女自ら發明となり、自己の身體を愛護し、貴い貞操を擁護し、又自己の將來を考へるといふようにしたい。妙齡の工女六十萬人の將來は、重大なる社會問題であるのみならず、人道問題とも聯關がある。

此等多くの工女の出身地は多く地方農村であるといふ、此等に關する研究調査をも、處女會を介して、處女會員がするやうにしたいと思ふ。此外家族制度のこと、農事改良のこと、育兒衞生看護のことなど、地方處女の心得べきことと處女會のなすべき施設事業は多々あるのである。戰後地方の經營に一般の奮勵を要する時、切に地方處女會の健全なる發展を望む。(談)



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

# 五節句と田舍の樂み

三輪田高等女學校教頭　三輪田元道

## □徳川時代の地方改良

昨今地方改良がやかましく論ぜられるやうになり、當局者も之に盡力されることは誠に感謝すべきことであります。この地方改良の爲の參考として、徳川時代の地方改良を研究することも面白いことゝ思ひます。

私が其の中で殊に面白く有益であると考へましたのは國民に娯樂を與へたと云ふことであります。

之に對して或る反對者は、國民に娯樂を與へるといふことは、國民を夢のように過ごさせやうとする政策だと云つて居ります。が私は之に對して同感する事は出來ません。

## □五節句の樂しみ

人間には働くといふ事と、樂しむと云ふことがなければなりません。即ち徳川時代に行はれました五節句などの様に、一年中で一番氣候の好い時を選んで、各々が御馳走をして特種の氣分を味ふといふ事は、非常によい習慣だと思ひます。

春は櫻の花をかざし、秋は菊の香に醉つて節句の氣分を味ひますと同時に、樂しく、面白く過して今までの疲勞を慰すといふのが、この五節句なのでありました。

この五節句が改められまして、今日の祭日、日曜日



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

などが出來たのであります。處が今日の休日といふものは、只空しく休むと云ふに過ぎません。昔の人々のやうに待ち遠しく思ふといふのではなく、反つてこの休日は所謂墮落日とも云ふ程で、この日に身を過つたり惡い場所に出入するやうな習慣を作り易いのであります。

## □今日の休日は墮落日

德川時代の休日は娛樂でありますと同時に、身の修養を行ふことになつてゐました。國民はそれぞれ自分の理想を目標として、進んで行つたのでしたから、國民にとつてこの休日は身の修養となつたのであります大正の御代に於ける吾々は、この休日をして最も樂しい味ある日として、取扱ひたいものと思ひます。

其他德川時代に於ては、風景の美を尊び、植物、動物を愛し、天然自然物に對する趣味を養ふといふ習慣がありました。又德川時代に於ける娛樂としては、最も音樂が盛に普及されましたから、平民階級の家庭にも一般に之が行はれてをりました。要するに人間に取つて働くといふ事が必要でありますと同時に、樂しんで行くと云ふ事も又必要なことであります。

「人心をして倦まざらしむ」といふ事が、即ち國民を治めて行く上の一つの方法であります。國民をしてうまざらしめないで、心を引き緊めて行く爲に、地方の祭日、神社佛閣、風俗習慣と云ふものが生れて來たのであります。このやうな宜しいものを再び復活させると同時に、新らしい時代の宜いものも取つて行くといふ事が地方改良に必要な事であります。

## □鋤鍬をもつ人が眞の勇者

地方に居る人は都の人よりものんびりとした氣分を味ひ、新らしい魚肉を食す事が出來ます。然るに田舍はつまらない等と、ぼんやりと都會にあこがれるといふとはどういふ者でせう國家の實力は實に田園にあります。鋤鍬を持つ人に眞の英雄豪傑があります。故に田舍の人は自重しなければなりません。そして眞に國民的國家的の働きをして、今後の日本の中堅となる力とならなければならない重い責任があると思ひます。田園の若い娘さん達よ、皆樣の田園の仕事は、國家の中心ともなるものでありますから、之が國家の爲であると思つて、十分に働いて頂きたいと切に希望いたします。（談）



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

# 幸不幸の岐れ路

山脇高等女學校長　山脇房子

虚榮を避けて實質を磨きますることは、いづれの方面のどのやうな人の上にも必要であること、今更申さないでも、讀者は小學校時代によくお聽きになつた事と存じます。けれども、活力の充ちて居る若い時代には、何時の間にか此の虚榮といふ惡魔の手に囚へられて、自分で氣の付いた時は、もう逃れることも出來ないやうになつて居るのが普通で、最後には恐ろしい又情けない結果に陷るものですから、よく〳〵注意致さなければなりませぬ。

虚榮と申しても、甚しい大きな場合には、それが虚榮だと誰の目にもはツきり見えますけれど、一寸した事、例へば知つて居ない事を知つて居るやうに裝ふとか、持つて居ない物を持つて居るやうに吹聽するとか品物でも、惡い物を良いやうに見せかけるとかいふやうな小さな事は、誰しも不注意に過ぎ易いもので、然もそんな小さな虚榮心が段々育つて、おしまひには一生涯を誤るやうな大きな虚榮心になるのですから、恐れなければなりませぬ。

又同じやうに自分の知らないのを恥ぢても、知つた顏せずに、どうか知りたいと努め、お友達が皆持つて居るに自分ひとり持つて居ないのを悲しいと思つても人間の價値は衣服や持物にあるのでない、精神が大切だから、此の方では誰にも負けないやう修養しようと勵みますのは向上心で、是は大變よい事です。

この誤り易い二つの道は、一生涯の幸不幸の岐れる所で、一家でも一國でも皆同じです。私の間接に知つて居る二人の娘に、丁度この實例とするのに適當なのがありますから、それをお話いたしませう。若い方々には屹度共鳴なさることが多からうと存じます。

それは東北地方の或る農村ですが、同村に住んでゐ



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

る遠い縁續きの二軒の家に、どちらも娘があつて、年は一つ違ひの爲め、村祭の日の衣服や、お正月の羽子板などまで、同じやうにして育つたさうですが、年上の方の娘は才氣の勝つた性質で、學校の成績もよし、容貌も人目につく程ですし、年下の方はチト因循だと申してもよい程溫厚しい性質なので、仲よく交際はして居ましたものゝ、二人の爲る事は段々ちがつて參りました。年上の方は東京の文藝雜誌に投書などして折々賞めて貰ふ爲め得意になつて、家事の手傳などは嫌ひ、閑さへあれば雜誌や小說に讀み耽つて居ましたが年下の方は、自分の不才を恥ぢて、どうか自分もあのやうに、文章や字が上手になりたいと羨むこともありましたけれど、家事の手傳や養蠶の世話が忙しい爲め其の方に熱心に働いて兩親の喜ぶのを何よりの樂しみとして居ました。

その內一方の娘は、雜誌の上の交際から東京に來ないかと呼ばれたので、自分ハ才學を村の人達にも示したく、小說にあるやうな東京の華やかな生活がして見たく、遂に親をまで僞つて東京に出て參り、とう〳〵勝手に結婚して、親元へ度々無心を言つて寄越しましたけれども、親達は其娘の不埒に怒つて居りますから一向構ひません。そのうちに父親は大病して、家は哀れな狀態になつて居る處へ、今度は自分が夫から捨てられたとかで、今では居所も不明になり、村の人には冷笑の種になつて居るさうです。一方の娘は小學校の教員を養子に貰つたので、もう是で自分は一生田舍に暮すのかといふやうな淋しみは感じましたけれど、自分が力一ぱい働くのを、夫も親も喜ぶので張合もあり今日では二人の子の母となり、夫は小學校の校長になつて村の信用も厚く、誠に幸福に暮して居ると、其の親類の人が感心して話して居りました。

才氣もあり容貌も勝れて居た娘が今申したやうな結果になつたのは、つまり最初虛榮心の爲めに、誘惑の惡魔に囚はれたからです。虛榮心の強い人は、自分の實質實力といふことを考へないで、外部にばかり心を勞するのですから、丁度重箱を外觀ばかり立派にして中身は何でも構はないといふのと同じであります。さういふ人は世間に信ぜられないばかりか、自分にも、どんな境遇になつても心から滿足するといふ事は出來ませんから、結局不幸な人で終らなければなりません戊申詔書に『華を去り實に就く』と仰せられてありますのは、全くこの御趣意であらうと拜察いたします。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

# 私の少女時代

東京女子商業學校學監　嘉悦孝子

## □女工となって

私の少女時代はかよわい手に有り餘るやうな重い仕事を脊負はされて參りました。私の父は熊本の細川家の藩士で御座いましたが、丁度私が十二歳の頃父は養蠶業を起しました。之が我國での蠶業の一番最初の試みであつたのです。私はまだ何も知らない十二三の少女でしたが、父の新らしい事業の發展を心に配りながら、自ら進んで養蠶に從事する事に決心したのであります。士族の娘だからと云つて決して浮々した氣持ちは持ちませんでした。何か自分はかよわい力ながらも他に奉仕する事が出來たなら自分は喜んで働いて行うといふ熱心さが常に私の胸中にひそんで居りました。

父の養蠶が進むにつれて製絲工場が置かれるやうになりまして、そこの工場には澤山の女工さん達が働いて居りました。そこで私は今迄通つてゐました學校も中途で退學して、自分の身を犧牲にしても父の志を發展させて行きたいと思ひまして、自ら工場に行き女工達と一所に寢食を共にして絲引きの仕事に從事いたしました。其頃の工女と申しますのは、今日各工場で働いてゐる女工達とは全く違つて居りまして、大抵相當なお家の娘さん達が身の修養の爲、又蠶業を覺えたい爲に働いてゐたのであります。

## □偉人の話に感動する

然し工場通ひの仕事は十二三歳の子供に取つては誠に苦しいものでありました。私が一生の内で一番戰ひ苦しんだのはこの女工生活の頃であつたと思つて居ります。十二歳から十六歳の頃まで私は父の事業に從事して居りましたが、こんな仕事が私の一生涯の仕事で



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

はなかつたのであります。十六歳の頃から學問熱が盛んになりまして、どうかして勉强したい學校に行きたいと望んで居りました。幼な心にも覺えて居りますが私は祖母に向つていつもかう云ひました。『私は學校の先生になつてお祖母樣に乾度軟い着物ばかりを着せて上げませう』と。

そんな考へを持つてゐましたので獨立獨行の人にならなければならないと常に考へてゐたのであります。其頃の新聞とか雜誌とかを見ますと、國家の爲に活動してゐる婦人の事や、社會の爲に獻身的な生涯を送つたといふ女傑などのお話が記されてありました。そんなお話を讀みますと、自分もあんな立派な生涯を送つて見たい、少しでも國家の爲世の爲になる行ひがして見たいとしみ〴〵考へさせられたのであります。殊に其頃は革命黨の盛んな時代でありましたから拔き出た偉人や女丈夫等も多く見受けられたのであります。

### □十九の時初めて女學校へ

こんなお話を聞くにつれて、どうか早く勉强して自分も一通りの人間らしい仕事がして見たいと切に思ひまして、父に許しを乞ひましたが、父はなか〳〵私が勉强する事を許して呉れません『氣永く時を待て』と申して、相變らず、不滿ながら蠶業に從事してゐました。十九歳の時初めて私の本望が達せられまして、父の許可を得て上京し、其頃の女學校ともいふ成立學舍の女子部に入學する事が出來ました。

人の一心は岩をも貫くと申す例のあるやうに、私の過去をふり返つて見ますと、その歩みは鈍いながらも自分の希望が强かつた爲、子供の頃から自分が豫期してゐた通りを實現する事が出來たのであります。獨立獨行の人として世の爲人の爲に活動して見たいと思ひました事も、それが全部は出來ないながらも人の手にすがらず子女の敎育に一生涯を捧げ得るやうになつたといふ事も一つは、自分が氣永く時の來るのを待つた賜と感謝いたして居ります。何事でも其望みが强固でありさへすれば、何時か達し得られるのでありますから、決してあせらず落付いて時の來るのを待つといふ事が、世渡りの道に何より必要だと信じてゐます。若し私が、糸引きの仕事に携つてゐた時、父の意に從はず、一人で家をぬけ出て上京したのであつたら、決して今日のやうな子女の敎育に從事する事は出來なかつたであらうと思ひます。（談）



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

# 樂しい田舍のお正月

東京女子醫學專門學校長　吉岡彌生

□年と共に新らしくなつて

歳があらたまりますと共に、私達も新に生れて來たやうな生々とした氣分を懷きます。之れが所謂お正月の氣分とも申すのでせう。けれどその新らしい生々とした氣分の中にも心のゆるみ勝ちになるのは大抵の人が經驗してゐます事で、屹度後には悔をまねく事が多いのであります。

幼な子供の間はその氣分にうかれてゐるのも宜いと思ひますが、子供の時代から離れて次第々々に大人の時代に這入らうとしてゐられる娘さん達は、この新らしい年の始めに當つて、眞面目に自分の事や、將來の事について反省して見なければなりません。今までは兩親に總てをお願ひしてゐましたが、之からは自分の事は一切自分で行つて行き、其の上に昨年よりは一層家の手傳や、姉妹の世話を引き受けて、少しでも兩親をお助けして行かなければなりません。

□田舍のお正月が一番樂しい

田舍のお正月と云ひますと、秋の忙しい收穫も濟んで一年中で一番閑のある時節でありますから、この時を利用して出來るだけ有益な書物を讀んだり、身の爲になるやうな運動、遊戯を盛んにして、その間に精神の修養をなさる事が必要であります。又若い時には少し苦しい仕事でも厭やな仕事にでも我慢して、あらゆる事に堪へ得ることの出來る確な精神と肉體とを作つて置かなければなりません。

田舍にある若い娘さん達は、よく雜誌とか新聞とかに依つて、華やかな樂しい氣分で漲ぎつたやうな、大げさに書かれた都のお正月の樣子に憧憬たり、羨やん



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

だりする方々がありますが、それは田舎の方々が想像なさるやうなものではありません。家庭に於けるお正月の樂しみは何處に行つても同じで變りはありませんけれども、都のお正月は只表面だけの樂しみで、お正月らしい氣分を味ふ事は出來ません。之と反對に田舎のお正月は何となく落付いたゆるやかな氣分で、その氣分のなかで、お互に觸れ合ふ心と心の樂しみは、到底都人の味ふ事の出來ないものであります。

私も十九歳の頃まで、或る田舎で暮しましたが、今だに其頃の田舎の打ちとけ合つた樂しいお正月の事がしみ〴〵と考へられるのであります。

## □よく働きよく學ぶ

又お正月は一年中の慰勞でありますし、其年の活動の基でありますから、精神と肉體を休息させて、是からのお仕事に堪へてゆくだけの勇氣を充分養ふ必要があります。人間といふものは、絶え間なく働いて行く中には經驗も豊かに、修養も增して來て、知らず識らずの間に、何か大きな發見をなすものであります。ですからこの新らしい歳のはじめに當つて昨年に較べて今年はより以上の働きをして見やうといふ立派な決心を惹き起さなければならないのであります。

誠に十六七歳の若い盛りの少女の頃は、總ての點が發育し易い時代でありますから、勉强すれば、勉强したゞけ其人の知識となり、働けば働くだけその人の身體の健康を增すのでありますから、この尊い時期にある若い方々は、この時を利用して一生懸命に自分の仕事を勵まれる事を希望いたします。

## □健康に注意して

尙、正月にはどこの家庭でもやれおぞうによ、おとそよと御馳走が澤山出來ます爲、注意して居りながら自然食物の不攝生から腸胃を害し易いものでありますお正月であるから少し位は食べ過ぎてもよいと油斷するのが一番惡い事で、自分の身體に應じて食物の分量を制限して行かなければなりません。

次に一番注意しなければなりません事は樣々の誘惑に打勝つて常に强固な精神を養つて行かなければなりませんことであります。是は處女會の本旨でありますが、尙十分に自省することが大事であります。(談)



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

# 大正七年の出來事

### 一　月

蛇の尾を踏んでヒヒンと馬が門松に跳ね上ると、出雲の神樣千家男爵が成佛なされ、立派なお葬式をしてゐる中に海軍省が浦鹽斯德へ軍艦を派遣し、アメリカの新しい女が參政權を得て五色の酒を呑んでゐといとも畏し久邇宮邦彥王殿下第一王女が東宮妃に御内定になり、皇室の萬歲を唱へてゐると、買占の岡牛が仲小路大臣より大目玉を食ひ、細民がほつとひと息つくと、軍艦春日が印度洋で暗礁にのりあげた。

### 二　月

芝公園の梅の花を眺て居ると、露西亞が亂れ軍人が戰爭をやめて勝手に故里に歸てしまひ、日本人が勞兵會の噂をしてゐると、九州の桐野炭坑が爆發し、坑夫七十二人の死體に縋つて細君が泣き崩れてゐると、押川長官が細紐で首をくゝり、死體のあとから鋼片がバラ〱落ちるのを、新聞記者がさがしてゐると、浦賀ドックの職工五千三百名がストライキを始め、上役が青くなつてゐる最中、露國の内亂で内田大使が行李をまとめ尻に帆あげて目出度く歸國すると、支那が健氣にも獨逸に宣戰を布告する。

### 三　月

押川長官の葬式が濟むと九州の收賄が露見し、驛長やら局長が腰繩で引ずり出されると、ヨーロッパではカイゼルが癇癪玉を破裂して五十哩の大攻勢に出で、百貫目の大砲が巴里にドンドンと落ちると、田尻子爵が東京市長となり、山羊ひげをひねつて、玄米パンをかぢつてゐると、上野の彼岸櫻がチラリホラリ。

### 四　月

飛鳥山の花見行列をみてゐると九段偕行社で女醫者の大會が開かれ、吉岡女史が演說をしてゐる最中、獨軍が退却し始め、日本が陸戰隊を浦鹽に上陸させると、處女會中央部が成立し、鳩山女史が内務大臣の祝辭をよみ上げると、本野外務大臣が藥罐をかゝへて辭表を提出し、後藤新平男が鼻めがねを動かして其の後釜にすわると、水野博士が内務大臣の椅子によつかゝり、地方改良の新案を考へてゐる中、櫻はいつか散つて、靑葉をかすめてほとゝぎすが啼く。

### 五　月

端午の初節句をしてゐると、增貨が戒告[illegible]露西亞の過激派がわい〱噪いでゐる中、農商務省が外米管理令を發裝し、指定價格をきめると、獨逸が陰謀を以て露西亞をまるめこみ、獨逸大使が得意になつてゐると、日支協商が成り立つ。

### 六　月

コンノート殿下が聖上陛下に元帥狀を捧呈されると、チェック軍の政府が組織され、日本の出兵熱が高まると、海軍飛行機が墜落し、坂本中尉の葬式をしてゐると、コンノート殿下が御退京あそばされ、市民が見送つて參謀本部の前へ來ると、奥座敷で軍團組織の話し聲が洩れ、平和主義者がぬすみぎゝをしてゐると、亞米利加が百億萬圓出して三百萬人の軍隊を歐洲に送り出す。

### 七　月

富士の山開きがすむと、土耳古



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

皇帝が崩御し、獨逸大使がモスコーで暗殺されると、天皇皇后兩陛下より臺灣暴風雨被害者に千四百萬圓の御下賜があり、恐懼して天恩に感泣してゐると、軍艦河内が德山灣に爆發し、正木大佐が六百餘の忠靈に手向してゐると、露國皇帝が過激派の爲に銃殺され皇后が泣き悲んで居られると、日本赤十字がチエック軍看病の爲浦鹽に向ひ、無事に上陸すると間もなく、下の關で運送中の火藥が爆發し、市民が驚いてゐると、獨軍が總退却を始め、娘強盜が本所に現れ、短刀拔いて啖呵をきる。

## 八月

寺内伯がチエック軍援助の爲浦鹽出兵の宣言をすると、伊勢の岡半が買ひ占めをやり、農商務大臣が目玉を食はせると間もなく、富山の女房一揆が起り、大谷陸軍大將が浦鹽出征軍の司令官に任命され、劍襴を提つて出陣すると、米暴動が四國九州に傳染し、朝鮮米を廉賣しても治まらず、名古屋に鶏汀が始まり、女皮金斧木より女が青くなり逃げ出すと、甲府の若尾大盡が焼き仆される。三百萬圓御下賜の御沙汰を拜して陛下の赤子が感激してゐると、政府が米の強制買收を決定し、國庫金一千萬圓を支出すると、燒打の火の手があがり、軍隊が出動すると、新聞記事差止の命令が下り、騒動が小靜まりになると、露國皇太子が射殺される。

## 九月

徐世昌が支那大總統に當選すると、三井炭坑に暴動が起り、軍隊が出動すると、獨軍は全線に沿つて退却を始め、聯合軍が大砲を分捕つて喜んでゐる中、學習院女子部が獨立し、華族の姫さんが青山の原つぱを濶歩し始めると、上野に二科美術兩展覽會が開設され、九州に暴風雨襲來し、内務官吏が檢分にゆくと、一億萬圓の國庫證券が發行され、應募しようかと思案してゐると、本野一郎氏が冥土に赴き、三途川で寺内々閣をおいで〳〵する　、伯爵閣下氣味が惡がつて恐る〳〵辭表を提出すると、又々同陛下より廣島縣暴風雨被害民に賜金が下り、同胞感泣してゐる最中に政黨内閣原内閣が成立し、首相がシャンペンの盃をあげると、大浦子爵が頓死して秋風が身に泌みる。

## 十月

山本新大臣が内地米買付の打切を發表すると、日本郵船平野丸が撃沈され、被難家族が泣き悲んでゐると、ウヰルソンが聯合軍を代表して獨逸に啖呵をきり、カイゼルが青くなると、中條百合子が渡米し、文部省の展覽會が始まると、獨逸が正體を現はし始め聯合軍の鼻息が荒くなる、外米關税廢止の緊急勅令が發布されると、墺太利に休戰を要求し、間もなく對土休戰條約が調印され、講和が目の前にぶら下ると、「處女の友」の發行が決定する。

## 十一月

皇室典範の補則が制定せられると、李王世子殿下の御婚儀が進行し、土方伯爵が薨去し、世界風邪が蔓延して島村抱月が仆れ、須磨子が本妻と仲裁をすると、聯合軍が、セダンに入り休戰條約が締結されると、西園寺さんが大使となりカイゼルが退位を發表すると皇太子が赤ん坊のように泣出し、獨逸社會黨が内閣を組織すると官僚塔が崩れた、軍國主義の滅落を祝つて東京市民が提灯行列をすると、獨艦が珠數つなぎに聯合軍に引渡され、講和條件の噂さに華を咲かしてゐると、米が天井知らずに暴騰し、民本主義が瀰漫すると、浪人が怒り出し、立會演説を始めると、内務、大藏、遞信、農商務四大臣が勤儉貯金の訓令を出し、米騒動の公判が開かれると新男爵がふえ、瀧の川の紅葉があせると、獨逸婦人がウイルソンに泣き言をならべ、英吉利婦人が選擧運動を開始すると、神田の青年會館で普通選擧の公開演説が流行し、文部省が青くなつて民心統一の會議を始める。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

をり〳〵に學ぶいとまはあるものをいとまなしとてふみよまぬかな

徳（徳は行ひ正しくみだしなみよきこと、不徳は其の反對、）

いひけんも宜なり（いつたのももつともである）

職分（つとめといふこと、職務、職業、分別）

勤儉（勤はつとむ儉はつゞましやかにすることと戊申詔書に、勤儉産ヲ治メとあり）

放逸（だらしのなきこと、放蕩、逸樂など用ふ）

# 妻のつとめ

貝原益軒

益軒先生は名を篤信といひ、今から二百年程前の學者であります。行正しく養生のよい人で、八十五まで長生きしました。いろ〳〵の書物を著して居ります。是は婦女子に道を説いた一節であります。

家をよく保つと保たざるとは、夫の徳不徳のみにあらず、全く妻の心の善惡によれり。古人の「家貧くして良妻を思ふ」といひけんも宜なり。夫は外を治め、妻は内を治むる職分なり。夫いかに勤儉なりとも、妻もし放逸にして怠り驕りて儉約ならずは、家を保ちがたかるべし。殊に貧賤なる家はひとへに妻の力によりて榮え、衰ふ。夫は常に内に居ずして妻のしわざを知らず、たゞ妻に任せ置く、然る



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

貧賤（まづしくいやしきこと、貧富、貴賤など）

上士（さむらいといふこと、士は人の上に立つ故貴んでいふ）

庶人（平民といふこと、庶民階級衆庶など）

女工（婦巧ともいひ女の手藝のこと、裁縫をはじめとして、手の先のわざ）

博聞（ものおぼえの）強記（よきこと）

功（結果、勉強しがひ、てがら）

に、妻不德なれば、財を失ひて必らず家をやぶる故に、上士以下庶人の家を穢すは多くは妻のとがなり。戒むべし。妻の德は謹みて驕らず、夫と姑とによく從ひて、わがまゝならず、專ら家事に心を用ひて身をへりくだり、女工を能くつとめて怠らざる、これ婦人の德なり。かくの如くにしてよく家を保つべし。夫となれるものは愛におぼれず、必ず婦に敎へて家を治むべし。

## 益軒先生　格言

幼少の時は記憶と精力と共に盛なれば、博聞强記の功成り易し、一たび諳誦すれば則ち一日の功十日に當るべし。此れ學ぶ者の大に日を愛むべきの時也。

人生れて學ばざれば生れざると同じ、學んで道を知らざれば學ばざると同じ、知りて行ふこと能はざれば知らざると同じ。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

# 家事科學展覽會をみるの記

文部省の家事科學展覽會が七年の十一月から十二月にかけて、お茶の水の教育博物館内に開かれました。都の人は、みんな美しい衣服を着て、遊び歩いて居るもの許りのやうに思ひ込み、ついうか〱と田舍から出て來ては身をあやまる女も多いやうに聞いて居りますが、先達開かれた廢物利用展覽會といひ、又今度のこの家事科學展覽會といひ、その見物人の態度はどれもこれも皆眞面目なもので、たゞ珍らしいもの見たさの遊び半分といふやうな人はまるでなく、中には鉛筆手帖などを持つて熱心に書きとめてゆく人などもありました。あらゆる機會を利用して、めい〱の知識を増やし、それによつて他人をも自分をも幸福にしようとするかしこい考が、だん〱若い女の間にひろがりつゝあるといふことは、まことにうれしいことだと思ひました。陳べられた出品物も、なか〱面白いものが多く、記者もそれ等の人の中に交つて二度ばかりも觀に參りました。その中、思ひつきな、皆樣の御參考にもなりさうなもの數種を選んで、こゝに御紹介致しませう。

## ◎羽織と長着の兼用裁

東京裁縫女學校の出品に、左圖のやうな羽織と長着

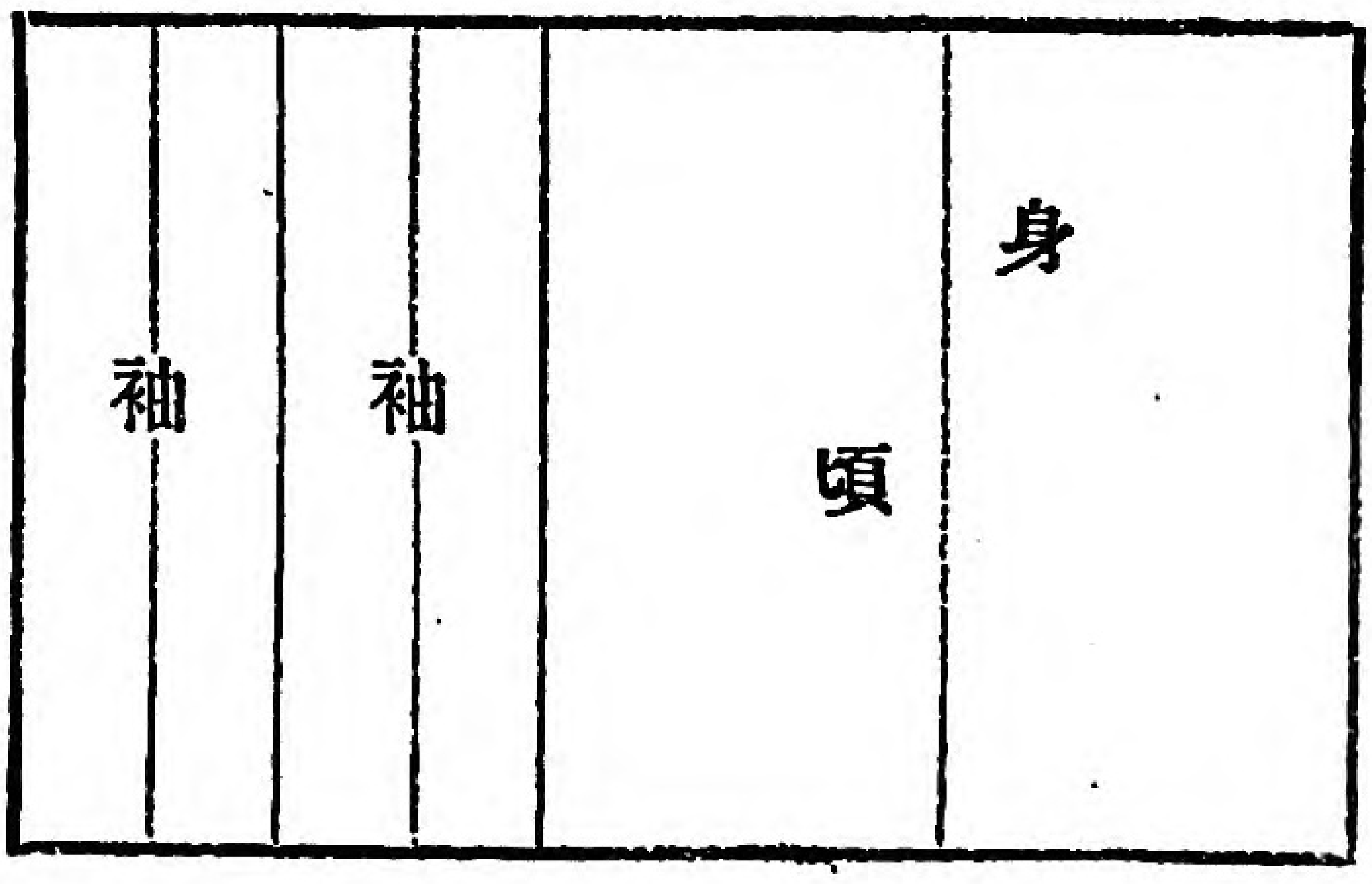


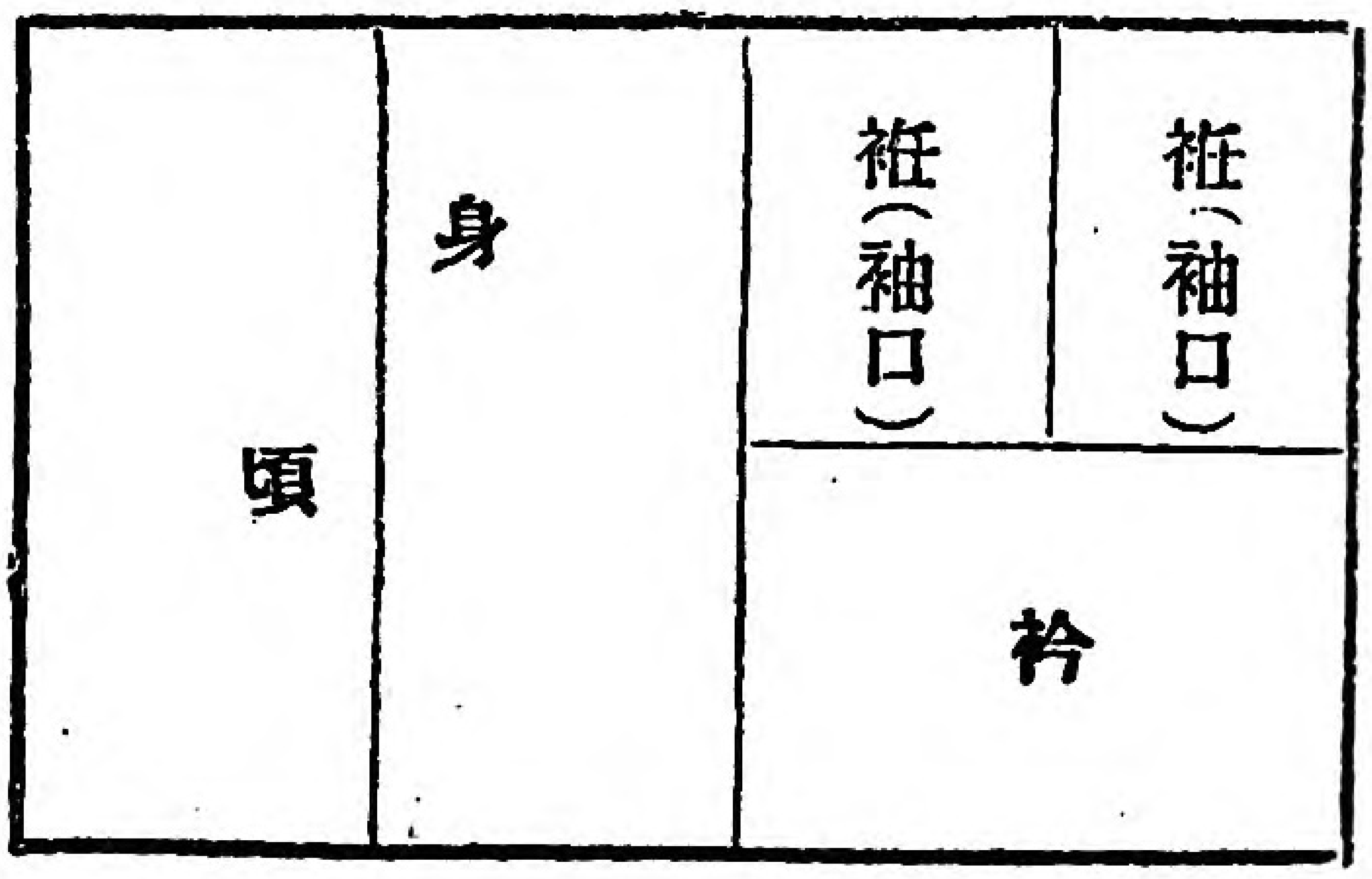
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

の兼用裁といふものがありました。羽織として暫く着飽きたため、又は痛んでもうとても上には着られぬためなどの際に、長着にして又暫くは用を足させる事も出來ませうし、又長着にしてはどうも柄がふさはしくなかつたから、羽織にして見たいなどゝいふやうな際に、まことに重寶だらうと思ひました。

　仕立方は、長着として着用の際はこのまゝたゞ當り前のやうに仕立てればよろしいのですが、もしこれを羽織とする時は、在來の羽織の通りに仕立てようとすれば衽を襠とし、袖口の布は丈七寸五分を四つ割にして、山接して用ひるのださうで御座います。しかし、常用着の羽織ならば、無理に在來の仕立方に從はずとも、身幅を二分位廣く仕立て、その代り襠を用ひず、コートのやうに身はつの止めから裾口までを自然に幅を廣くして、下では襠を入れたのと同じ寸法になるやうに縫ひ上げるのださうで御座います。さうした際には、この圖の衽となつて居る部分は袖口布にあてる事になります。しかしこれはめい〳〵の御好き〳〵ですから、どうも襠の入らない羽織はいやだと思召せば、前のやうにお縫ひになればよろしいのです。

　次に裁ち方の圖解を擧げます。




## ◎衽先無し本裁服

次に、やはり同校の出品で、衽先無し本裁女服裁ち方といふものがありました。この裁ち方は、用布の短い時、又は共衿が汚れ易いために、別に掛け易への共



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

衿がもう一つほしい場合などによろしう御座います。

裁ち方の普通と異ふ所は、

一、衿肩普通二寸五分のところを大きく三寸明ける事

二、衿の側から衽布を取り、それを二つに切つて左右の衽に使用する事。衽の丈は衿丈の二分の一、約二尺五寸に相當します。

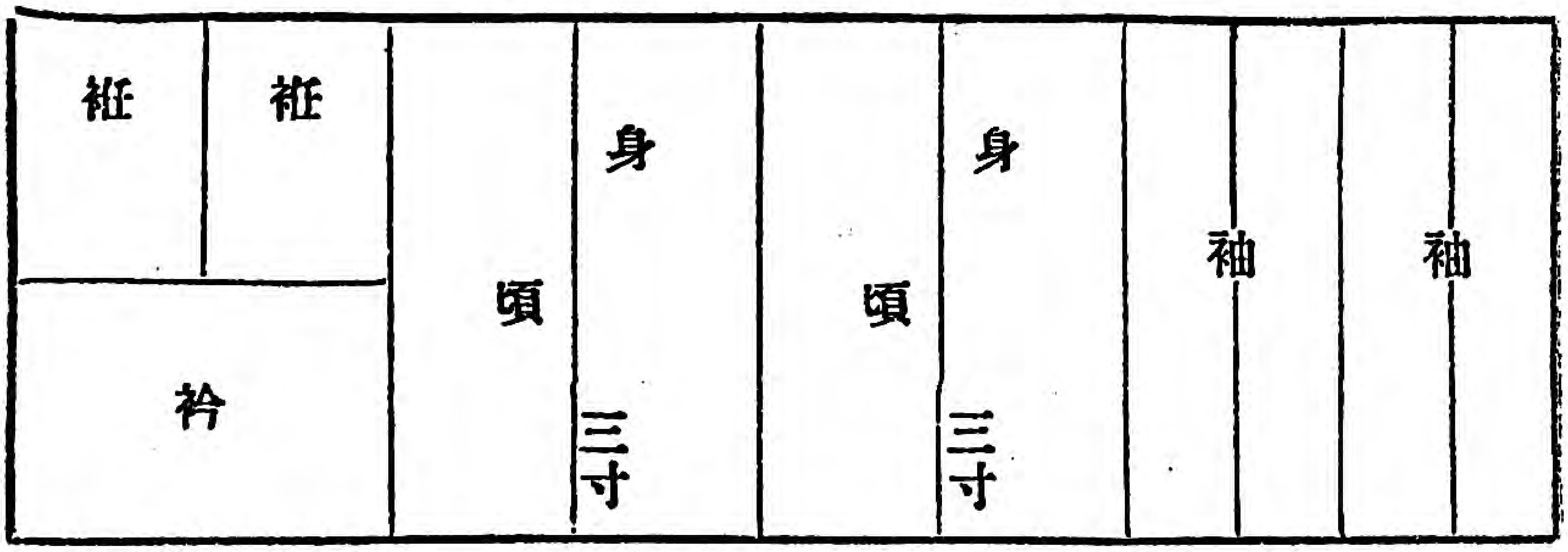
仕立方の普通と異る點は、

一、衿肩の普通より廣いだけを脊縫で縫ひ込む事。

二、前身頃の衽附上部にあたるところで、衽丈の不足した部分だけ身頃を摘み縫にして衽先を作る事、そのつぎ目は成るべく帶の下になる樣に致します。

下にその裁ち方圖解と、積り方の式とを掲げます。もしこの積り方で計算の上、身

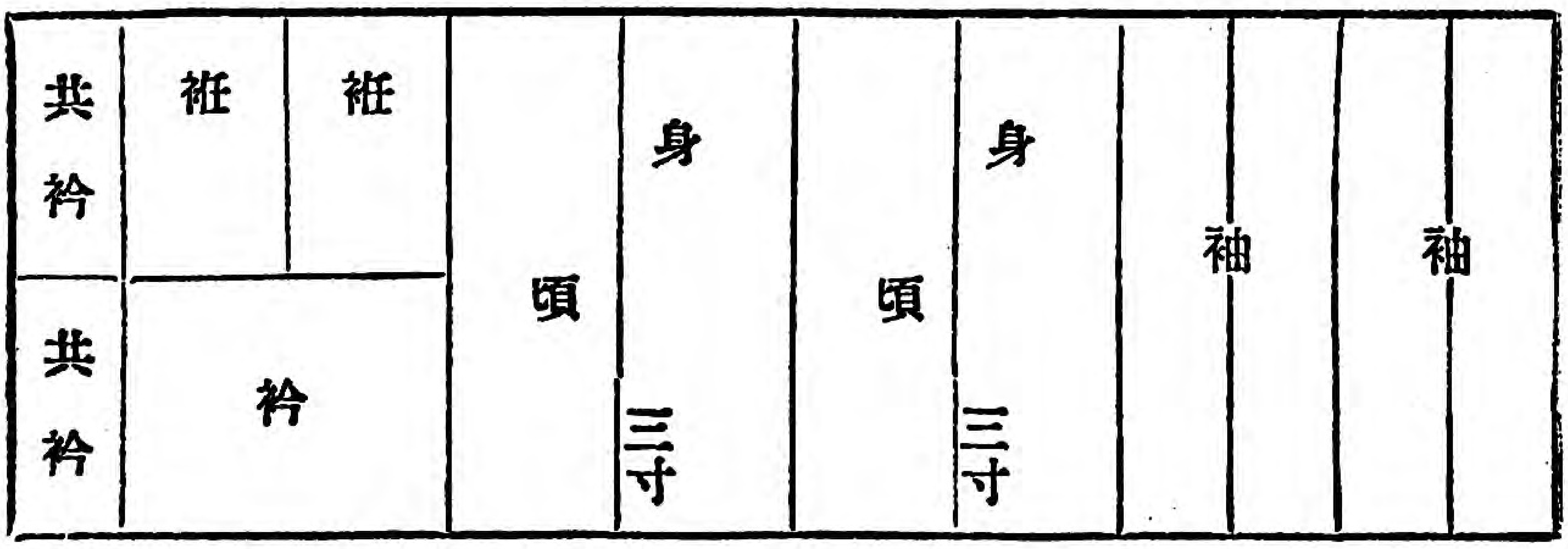
第一圖




積り方公式

{總尺−(袖丈×4+衿丈)}÷4＝身丈

第二圖



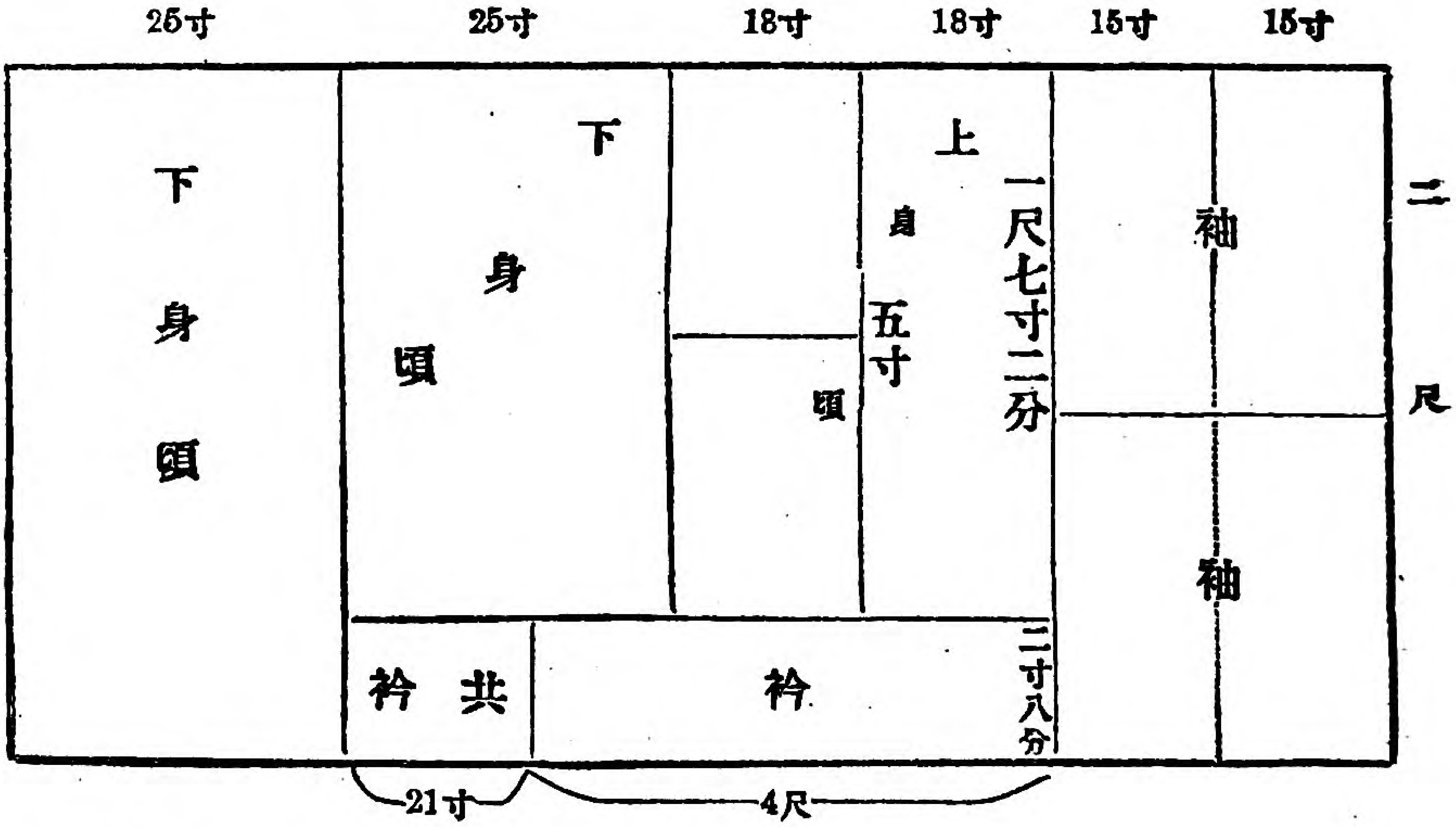

積り方公式

{總尺−(袖丈×4+衿丈+共衿)}÷4＝身丈



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

第三圖




用布二尺幅長一丈一尺六寸

丈がついたけよりも足らない事になつた場合は、その用布でこの裁ち方では衣服にならない事いふまでもありません。

## ◎實用服

東京高等女學校出品實用服これは大幅もので造られ上下の二部に分れて居りまして、着用の際は、先づ下身頃を腰ひもでしつかり押へ、次に上身頃を着用します。上下の合せ目は丁度からげの下にゆきますから、外から觀たところは從來の服と少しも違はず、尚二部に分れて居るために、洗濯、縫直しなどの際、汚れて居る方の一方だけを縫ひ直せばよろしく、又無用の縫込みをはぶいてありますから、少くも用布の上で五尺の經濟にはなるさうで御座います。

柄のよいメリンスで實物大に造られ、形よく人形に着せて御座いましたが、成程見なれぬ形の改良服などと違つて、これなら誰にでも着られさうに思はれました。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

## ◎其他いろ〳〵

○其他、掛紙と云つて、古新聞紙二三枚の厚さのものを掛布團の大きさに貼り合せ、きれいに縁を取つて、縦横に紙テップを貼りつけてあるものがありました。(紙テップは脆い新聞紙の破れを防ぐためです)。紙は熱の不良導體ですから、これを掛布團の間に一枚掛けて夜寢みますと、輕い上に、布團一枚の代用をする程温いさうです。成程結構だと思ひました。これを應用して袖なしなどを造つて衣服の間に着用してもよろしう御座いませう。紙衣といふものは昔からあつて、大變温いものと聞いて居ります。

　このほかにもまだ色々面白い趣向のものが御座いましたが、紙數に限りがあつて陳べられませんから、こ こにはたゞ衣服の部だけに止めて置きました。食物の部、住居の部、育兒の部などにもそれ〴〵よいものが御座いました。

## お料理

賑やかに豐かな收穫がすみますと、次に待たるゝものは樂しいお正月で御座います。そのうれしい日も、もう目近かに迫つて參りました。温い火桶の團欒に、皆樣御手料理の興を添へていたゞきたく、新年向手輕なもの五六種を御參考にまで記して見ました。

○吸物(淡雪むらくも海苔)。玉子を割り、黄味と白味とに分け、(黄味は後の數の子に使ふ)、白味だけを五六本の箸でかきまぜて淡雪のやうにふつくら泡立てます別に煮出汁を煮立て、食鹽と醬油で味加減して椀に盛り、上に淡雪を落し、燒海苔をチラ〳〵かけて供す。

○數の子の黄味醬油かけ。三四日水に浸けた數の子を



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

鹽でよく揉み、三四回水で洗ひます。別に醤油三合の中へ煮切味淋二合、削鰹節二十匁ほど入れてませ合せ其の中へ數の子を浸け込んで置きます。後これを取り出し、細かにくだき、もう一度醤油につけてから、十分位經つたらば汁を搾り、器に盛り、黄味醤油をかけて供するか又は添へて供します。黄味醤油は、玉子の黄味を鍋に入れてよくかきませ、卵一個に對して煮出汁一勺の割にませ、醤油を薄味に入れ、弱火でどろどろになるまで煮一度漉して、冷まして用ひます。

○鉢（伊勢海老の鬼殻燒。附合菊花金柑）。伊勢海老を洗ひ、水と一緒に鍋に入れ、二尾につき鹽大匙一杯を加へて廿五分間位茹でます。それを水に取り、充分冷まして引き上げ、尾鬚を切り落し、姿のまゝ縦に二つ割とし、醤油三勺に味淋一勺を合せた汁を附け、皮のまゝ網にのせて二三回汁をつけては燒きます。金柑は縦に一分位づゝ間を離して庖丁目を入れ、ざつと茹でて水二勺、砂糖中匙一杯、味淋二勺、鹽少々とで煮上げ、上下から押し附けますと、菊花のやうな形になります。

○風變りなカツレツ、附合馬鈴薯。牛肉でも豚肉でも其他野獸の肉でも、よく叩き肉にし、鹽、黒胡麻少々林檎の細切とを交せて輕く叩き交せ、厚さ五分、幅二寸の形に調へ、パン粉を、下面には一面に、上面には半分を殘して他の半分につけ、ヘツト又は胡麻油少量を沸立したフライ鍋に入れ、上面にも何かに火をのせて上下から蒸し燒にします。燒けましたら取出し、茹玉子の裏漉したのを上半面さつきパン粉をつけ殘した部分にのせ、食パンを肉と同様の大きさに切つて肉の臺にして皿にのせ、馬鈴薯の鹽茹でしたものを附合せます。

○酢の物。赤貝の貝を割り、まわりの薄いひもを取り離し、二つに割り、庖丁の先で中の黒いものをこそげ



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

取り、笊に入れ、鹽少々ふりかけ、水の中で笊を揺り動かしながら洗ひます。それを一つ〳〵俎の上に載せて斜に互ひ違ひに庖丁目を入れます。（下まで切り離さぬやうに）。それを甘酢の中につけて置きます。別に大根おろしを造り、布巾の中に包んで水中でさらし、かたく搾つて置きます。次に柚子を軸附の方三分一ばかり輪切にし、殘の三分二の中の實をきれいに取り出し、その中へさつきの赤貝とさらし大根を入れ、三杯酢をつぎ入れ、上に揉み海苔をかけ、さつき切り離した上三分一を蓋にして出します、三杯酢の作り方は、砂糖輕く大匙一杯、味淋三勺を煮立て、柚子二個の搾り汁と醬油半勺ほどを加へます。

○芋羊羹。薩摩芋の皮をむき、輪切にして茹で、裏漉にかけ、芋の量の四分一のメリケン粉及び鹽砂糖少々を加へ、よくませ合せ、折箱の底をぬいたものに濡れ布巾をしいて其中へ入れ、蒸籠で蒸します。金串をさして見て拔いた時に何もつかなければ蒸上つたのでありますが、大抵厚さ一寸位あれば強い火で一時間位かかります。メリケン粉の量は少ければさらり〳〵とゆき、多ければモチ〳〵します。好みによつて加減します。

○山椒餅。山椒の皮を煎り擂鉢で粉にして篩つて置きます。赤味噌もよく擂つて置きます。餅をあたりまへに搗きあげ、糯米一升の餅につき砂糖五十匁、赤味噌飯茶碗二杯、粉山椒小匙一杯を加へて搗きまぜ、もう一度蒸してざつと搗き、とり粉の中に取り、薄くのし、固まつてから切ります。一寸變つた風味があつておいしくいたゞけます。

ほんにお前が男でなけりや、丁度今頃嫁入盛り、少しや見榮もあるだろに、輜重兵とは聞きたうもない　（凸　坊）



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

# 戰後の田園婦人

内務省囑託　天野藤男

今主もに戰爭と地方農村のことで、地方婦人の知らねばならぬことの大體をお話しすることにしませう。此の中には無論處女會としての心得も入つて居ります

## 一　誰も考へねばならぬ事

過去五ヶ年間の歐洲戰爭は、日本にどんな影響を及ぼしましたか、又此から國民はどういふ覺悟を持つことが肝腎かといふことは、女も男も、老人も子供も、日本に住んでゐる國民である以上誰も心得ねばならず考へねば濟まぬことなのです。『そんなことは、お上に任せてある』『お役人がよいやうにする、我々は只人並みのことをして居ればよい、殊に女は』といふやうな考をもつものがあれば、其こそ大間違ひであります昔ならばさういふ風な女を『すなほな女』とか『女らしい』とかいつて褒めたかも知れませんが、今の時代には通用しませぬばかりか、賴もしくない女として批難されます。

## 二　俄分限と農村

日本は戰爭の爲に、思ひもつかぬ金儲けをしました其は歐洲の國々が、戰爭最中で落ちついて仕事をすることが出來なかつた際に、どん〳〵品物を賣りつけたり、又歐洲の國々の得意先をとつてしまつたからです戰爭からこの方會社や工場が猝かにふえ、自動車がふえ、別莊がふえ、よく人のいふ『成金』といふ俄か分限が澤山出來ました。

然し是は主もに船舶業や鑛山業や商工業に從事してゐる大都會の人に多く、田舍とは深い關係はなかつたばかりでなく、却つて都會の粹



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

か分限な眞似て投機に手を出したり、都會に飛び出したりした爲に失敗した農民が少くありませんでした。又一般に贅澤な習慣が都會から流れ出で、質素な田舍の美風を害したと言はれて居ります。

農民ばかりでなく、戰争は都會の月給取の生計にもよい影響はなかつたのです。賃銀が上つたから勞働者は概してよかつたのですが、一般の物價が上りましたので、さう樂でもなかつたようでした。

## 三　食ふことが第一

其中お米を首として、他の物價が急に高くなつて來ましたので、一般の人は生活が益々困難となり金持に對する不平やら、商人に對する反感やらが之に加つてとうとうあのような米騒動が起り、炭坑にまで飛火して、軍隊を出さねば鎭まらぬような、騷ぎとなりましたことは、皆様御承知の通り。

平和の使

而も其が富山縣の漁師町の婦人達から起つたことを、皆様に記憶して戴きたい。其は名譽であるといふ譯でいふのではなく、又恥辱として、懲らしめの爲にいふのでもない、只人の生活といふものは、どんなに重大なものであるか食へなくなると人は平常に思ひよらぬことをまで平氣でするようになる。衣食住の中パンの問題が一番大事である。之が不安になつたので、あのような騒動が起つたのであるといふことを知つて戴きたいのです。臺所が不如意になると、其處を受持つてゐる主婦が一番早く困ることは、町も田舍も同じことであります。

幸に、皇室の御仁慈を首めとして、篤志家の寄附や政府の骨折の爲にいゝ鹽梅に騒動は收まりましたが、米は安くならず、物價は上る一方で、不相變一般の國民は困つて居ります。日本



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

に成金が出來たのは結構ですが「成貧」のふえたことは決してよいことではありません。

## 四　お米一俵とる迄

お米はいふまでもなく、日本人の生命をつなぐ素で是は皆様が御兩親を援け、御兄妹と力を戮せて丹精して作くり上げたものです、三月の田の鋤き返しから、種子卸しから、苗代の手入から、害蟲の驅除から、田植から、水遣りから、施肥から、半歳に渉る心配と骨折りは、並大抵ことでありませぬ。粒々皆汗と力との結晶であると申してもよろしい。しかも一旦暴風雨が來まするど、折角の丹精が水の泡となることが珍らしくありませぬ。骨折る丈でなく、此の位心配の仕事はありませぬ。是は皆様の方がよく御承知のことです。

こうして收獲たお米を、一俵何圓に賣つて適當かといふことは、よく考へればならぬ問題であります。肥料も上り、勞銀も上り、他の物價が二倍にも三倍にもなつた今日、只米が高い〳〵とお百姓を呪ふやうなことをいふことは、よくお米を作る人の心を知らぬ人のいふことです。

又農家の中にも、米を買つてゐる家が澤山あることを知らねばなりませぬ。自家で作つた米を、自家で食べることが出來ず、又食べる程作る田をもたず、譬へもつても人手のないといふ農家も多いのです。お米が高いからお百姓は儲かると一圖に思ひ込む都會の一部の人達は、能く農家を知らぬのです。

## 五　程よい相場にして

正直な勤勉な農民は、勞働に對する適當な報酬と、日常の生活がなし得られる丈のお金を要求し、其に叶つた米相場を望んで居ります。不當に高く賣つて金儲けをしようとするやうな考は毛頭持つて居りませぬ。況して、其の買ひ手といふのも同胞です。今の時代には、都會と田舍とは親類であります。又都會の勞働者々々といつて別の階級の人達のように噪ぎますが、よく考へてみますと、都會の工場會社に働いてゐる人は、多くは農村の出身者であります。つまり私共の身内が多いのであります。其等の人には尙更お米を廉く



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

してあげたいのです。

然し農民さて食ふこさが出來なくては困ります。新宅の部會ばかり榮えて本家の農村がいきついてはなりませぬ。其處で、米を作る人にも、賣る人にも、買ふ人にも程よい相場にしたいのです。四海同胞を理想さしてゐる日本の國民は、誰しも此を道理さ思つて吳れるこさゝ思ひます

米相場の上つたのは、正しくない一部の商人の爲と言はれてゐます。昨夏の米騷ぎは、主もに勞働者が主動したものでありますが、一人として農民に怨み言がましいことをいつたり、亂暴を働いたりした者はありませぬ。是は當然のことであるのです。勞働者にとつて、農民は兄弟であり、親子であるのです。私は勞働者が、米商人に放火したり、富豪に投石したりすることを、よくないことに思つて居ります。然し是からの世の中は、多數の人の幸福といふことが、基となつて來ます。少數の人が富み榮えて、多くの人が苦しむといふことがなくなることゝ思ひます。從つて大勢の人が幸福を得るようにならねば、只自分一人金をためたり、位を得ても、何んにも尊くないと思ひます。つまり世の中が公平になつて來たのです。自分ひとりよいことをしやうといふことが許されなくなつて來ました是も歐洲戰爭のお蔭の一つであるのです。

## 六　農村の勝利

お話しが少し逸れましたが、斯樣な譯で、是からは國民の生活さいふことが、根本になつて來ました。政治も軍備も之が爲に必要なのであります。戰後の覺悟としましては、先づ國民全體の生活の安定を圖ることです。政府や役人の改良は別として、皆樣は、戰後益々民業を發達させ生産を多くし、收入を增してゆかねばなりませぬ。處女會員の方々は處女會を介して、身を修めると共に、農事の改良と町村の開發とに力を須ひねばなりませぬ。獨逸は敗けましたが、あれ丈の大軍を對手として、永い間戰爭して居りましたことは、敵ながら天晴さ云はねばなりませぬ。是といふのも、田舍の基を固め、農業の發達を圖つた爲であります。我邦も將來益々地方改良のことに力を致し、農村の保



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

護に力めることヽ思ひますが、皆様も此の心となつて郷土を富まし、農村の基を固めることに心を用ひねばなりません。何んといつても、地方は國家の礎であります。強い兵を御國の爲に出し、國民の命をつなぐ米を作る田舎を富まさずに、國の力を増してゆこうといふことは、出來ない相談であります。歐洲戰爭の勝利はつまり農村の勝利なのです。

## 七　次は婦人の力

次に今回の戰爭は、婦人の實力を示すに、よい機會でありました。直接戰爭に從事した婦人もあつたといふことですが、是れは姑らく別として、負傷兵の看護に、軍資の調達に、通信事業の援助に、男子に代つて婦人が働いたことは、目ざましいものであります。獨逸は固より英吉利や佛蘭西などでは、若い婦人が、大砲を作つたり、電車の車掌になつたり、郵便配達夫になつたり、自働車の運轉手になつたりして、一つには夫や父の留守の家族を養ふことに力め、一つには、國家の爲に貢献したのであります。つまり今度の戰爭で婦人は十分に國家的內助をしたのであります。子供を產み子供を育てる一方に、生計の資料を得其上にお國の爲に働いたとは、何んと尊いことでありませんか。其の代り今度の戰爭で、婦人は男子に比べて、身體も精神も劣るものではないといふことが、よくわかるようになりました。否之が爲に却つて男子の職業が婦人に取られはしないか、といふ心配さへ起つた位であります。又佛蘭西にしても、獨逸にしても、男子が多く死んだ爲に、婦人の結婚難が招來され、延て人口が減れはしないかといふ心配さへ起つてゐるのであります

日本は大軍を起さなかつた爲に、婦人が男子に代つて仕事するまでにはなりませんでしたが、世界の大勢と一つには婦人の進歩とにつれて、婦人の職業の範圍が廣められて來ました。

皆様は、夜明から日暮まで働いて爲られる。働き過ぎて居られる位であります。然し日本にはまだ遊んで男子に食べさせて貰つて爲る女が澤山あります。解り易くいへば働き過ぎる女と、働き過ぎない女とが多く



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

あります。不公平であります。今度の戰爭は、女も働かねばならぬ、働かぬ女はほんとうの女でないといふことを暗示して呉れました。私共は皆様が雨の日も風の日も一生懸命に働いて居られることを十分に見て知つて居ります。此以上働くことをすゝめないばかりでなく、寧ろ今までの勞働を今少しく輕く少くして、其の代りに娛樂をふやし、田舍に居つても、都會と同じように文明の恩澤に浴するようにしてあげたいと思ひます。政府でもこういふことに力を盡くしますが、人にのみたよらずに、皆様も相談し合つて、こういふ風にしなければなりませぬ。自分からやらねば、しつかりした仕事は出來るものでありませぬ。

お目出たう（臺灣の同胞）

## 八　六十萬人の工女

一方の都會の勞働者も田舍に深い關係があります。丈夫な悧口な働きのある人を都會の工場や會社に送らねばなりません。そして、常に鄕里と連絡を取つてゆかねばなりませぬ。殊に近年問題となつて來ましたのは、女工の身の上であります。日本には、六十萬人の女工が居りますが、是は私共や皆様の姉妹で、御兩親からみると、いとしい娘であるのです。この六十萬人の工女が、今どういふ暮らしをしてゐるか皆様は御存知ですか。幸福に暮らしてゐることゝ思ひますか、決してさうでないのです。多くの工女は、激しい勞働に疲れ切つて瘦せ衰へ



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

て青白い顔してゐます、又よくない男子に誘惑されて泣いて苦んでゐる女が多くあります。皆樣は處女會を通して、婦人職業の研究や工場の調査をしなさい。そして皆樣の姉妹の不幸をお救ひなさい。僅かばかりの賃錢を得て機械の如く使はれる工女に同情し、其の地位を高め、もつとよい待遇を得、もつも務めが樂になるようにしてあげなさい。私共も、皆樣の味方であるのです。

又都會に爲る娼妓や酌婦も、多く農村から出て居ります。つまり私達の身内であるのです。年頃になつて嫁にもゆかれず、夜晝となし肉を削がれるような苦しみをしてゐる娼妓をお救びなさい。救ひ出すことが出來ないならば、せめて是から皆樣の土地から斯樣な不幸の女を出さぬようにしなさい。家庭を睦まじくすることは勿論處女會の基本財産をふやして、萬一の場合には、其の金を融通してあげて不幸に陷る同胞を未然に救はねばなりませぬ。處女が皆悧口になり、父兄の考へも進んで來ますれば、不幸な女は自然とへる道理であります。是がほんとうの慈善救濟事業であります。

女子が悧口になり、自分の實力を高めることは、やがて男子の我儘を制し、女子の地位を高めることになるのです。男子を呪ひ、自分の運命を悲しむよりは、先づ女自身がしつかりとしなさい。

## 九　男よりも大事

是からの田舎の婦人は、單に夫を助けて家事農事をしてゐれば事足りると思つてはなりませぬ。經濟の智識を養ひ、自治體の大體のことも心得え、又政治についてのあらましをも辨へねばなりません、將來の家族制度はどうなるか、選擧とは何んのことか、憲法には何を制定してあるか、又世界の有樣は今どういふ風に變化してゐるか、子供をどういふ方針で育てねばならぬか、といふような智識と思想をも養つて置かねばなりません。

青年團も必要でありますが、私は未來の母となる處女の修養機關たる處女會の方が、大事であると思ひます。子供の賢愚は、母親の賢愚に依つて岐れます。善良な青年も善良の婦人を嫁らねばよい夫となることが出來ませぬ。露骨でありますが、私は處女が青年を生むといつて居ります。皆樣は、只夫の妻となる身の上であるとのみ考へずに、自治體の妻である、日本帝國の母であるといふ大きな廣い考へをもつて、今の中から十分に身體を鍛へ、婦德を磨かねばなりませぬ。立派な國家の妻となり、立派な日本の子供を生んで、立派に育てるといふことは、女子の特權であるのです。戰後の準備及地方の經營の根本は此にあると思ひます


Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

# 我が占領地に就て

五年にわたる世界の大戰も、豫期の如く獨逸の無條件降服によりて終末を告げた。やがて開かるべき講和談判で戰捷與國は何を得るであらうか、殊に我が日本の懐に入るものは何か。可なりの犧牲を拂つて占領した膠州灣や南洋諸島は、果して我が有に歸するであらうか。恐らくは兩所共に日本の手に入る事と思はれるが、それにしても兩所は一體どんな所であらう。以下簡略ながらそれに就て述べよう。

## 膠州灣に就て

獨逸が清國から膠州灣を租借したのは、今から凡そ貳十年前西暦紀元千八百九十八年の三月であつたが、彼が東洋に飛躍する根據地を清國に探し求めた頃は、既に英露の勢力が及んでゐたので、當事さしたる價値をもたなかつた此の膠州灣で辛抱するより外なかつたのである。然し獨逸は綿密なる調査によつて、充分此の地の將來發展する見込ある事を確めてゐた。卽ち鐵道の敷設、築港等に力を注いだなら、必ず此處を根據地として支那の市場に活躍する事が出來ると認めたのであつて、之れ等の施設も難事業には相違ないが然し決して不可能でない事を確めてゐたのである。

抑々膠州灣は事新しく述ぶる迄もなく、支那の山東省の東北隅に在る一港灣で、我が門司からは五百七十哩の外にあり、有名なる青島は灣の左翼東方に突出してゐる。此の青島といふのは實に現今のアルコナ島の舊名で、灣內の黃島と並稱されたものが、何時の間にか本土の一部を包括する稱とはなつたのであつて、之等租借地の全面積は大約五百四十平方吉米ある。

此の地は面積から見れば殆ど問題にならない程小さいが、然し此處を關門として支那の市場へ乘り出す時



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

は、經濟上受くる利益は決して少くないのである。獨逸は卽ち之を目的に租借したのであつて、十數年來築港、鐵道の敷設、軍備等に投資した金額は實に約一億萬圓に達してゐる。此の如くして交通機關が完備さるゝや一方民間の投資家も續々來つて貿易及び工業の發達に力を注ぎ漸次斯業の發達を見るに至つた。それに青島の附近には石炭の產出多き鑛山もある事とて、將來工業の發達は目覺ましいものがあらうと思はれる。そして又此の地の氣候は殆ど大陸的なる處なく、支那沿岸中稀に見る溫和であり、且つ港は年中氷結する事がないだけ、貿易の發達も著しいものがあらう。

卽ち講和談判によつていよ〳〵此の地を占有する權利が我が國に移れば、山東省から直隸河南の中腹と、黃河北岸を抱擁したる獨逸の勢力に代つて、大に經濟的活動が出來るわけである。

## 南洋諸島に就て

次は南洋諸島であるが、我が國が軍事的に占領してゐる處は、マーシャル諸島、マリアンナ諸島、トルツク、ポナペ、クサイ島を始めとして、數多の島嶼よりなる東カロリン諸島、パラウ群島、其他の島々を含める西カロリン諸島である。以上は我が小笠原諸島の南東に位してゐる。全部を合した面積は縣にすれば神奈川縣か佐賀縣より少し大きい位であつて、熱帶圈內に南北に千二百哩、東西二千五百哩の廣大なる水面を蔽ひ、恰も綺羅星の樣にまきちらされてゐて水面の廣さは略濠州大陸位ある。而も附近は未開の處多く、諸國の植民地も多い事とて、之を占有すれば政治的の發展經濟上の活動其他各種の行動に利便を與ふる事は決して少くないのである。

氣候は四季溫度の差も、晝夜溫度の差も大して著しい事なく、よし暑い日があつても、海洋から絕えず盛んに蒸發する水蒸氣は凝結して每日驟雨を降らすので一過した後の涼味は格別である。又此の驟雨は水なき各島にとつては大切なものであつて、各戶水槽にとつて使用してゐる。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

自然の風土は、植物の盛長に極めて適應せるものから、何れの島にも鬱蒼たる深林があり、殊に椰子樹が多い。此の椰子は南洋土人にとつては唯一の生命であり、又今日の工業界には缺くべからざるもので、其の利用の道の廣い事は他に比を見ないから、之が栽培によつて得らるゝ利益は決して少くない。

椰子樹は高さ凡そ五丈に達し、葉は大形の羽狀複葉で果實は人の頭ほどある。木材は堅牢で然も美麗であつて建築其他に用ひられ、樹液は多量の砂糖を含むので酒を醸すに用ひられる。葉は強靱なる處から籠を造り、又は屋根をふくに用ひられる。果實は厚い纖維質の果皮で包まれて内に堅い内果皮があり、其中に柿の種の樣な白色の胚乳がある。そして年中果實を結ぶが未だ熟しきらないものからは多量の漿液をとる事が出來る。之は非常に美味ある味を有し、此の地方の絶好の飲料となつてゐる。又胚乳は細かく砕いて日常の食料となし、其の油はとつて調理に用ひる。處によつては此の油に生姜の類の植物から搾り得たテークといふ赤黃い粉末狀の染料をませて、顏から身體全體に塗つてゐる土人がある。土人はかくする事によつて、蚊や蠅などのたかるのを防ぎ、又驟雨に遭うても水をはじいて風を引かぬと言うてゐる。又此の胚乳をとり出して乾かしたものが有名なるコプラとなつて輸出される之に加工して得らるゝ椰子油は石鹼、人造バタ、化粧品の原料として甚だ重要なもので、化學工業界の需要が甚だ多い。實の堅い處は土人の椀、食匙となり、纖維質の中果皮で糸、繩、蓆等をつくる。此の如く椰子樹の利用は甚だ多く、此の外バナヽ、甘蔗、パインアップル等に於ても一廉の産物として輸出する事は難しい事ではないのである。

次に南洋諸島の成因は、珊瑚島に非ずば、火山島なるを以て燐礦の産出も多い。燐礦は人造燐酸肥料の原料として用ひられ、我が國に輸入される年額は七百五十萬圓にも達してゐる。故にいよ／＼南洋占領地が我が有に歸するならば、之れ等から受くる利益は決して少くないのである。

南洋占領地四萬有餘の土人文明、は極めて低く、其の風俗習慣も一體に野蠻くさい。近來は大分開けて來たとはいへども、尚ほ身に衣類を纏う風も普及されず貝や魚の骨で作つた斧を使用してゐる處などもある。其外奇蹟とも言はるべきはヤップ島でとても動されない石の貨幣や貝で作つた貨幣がある事である。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

農村美談

# 岡部氏と小作人

岡部榮信氏は、群馬縣の大地主で、五百人に近い小作人を愛護し、一家族の如く睦しい關係を保つて居ります。私はふとしたことから、同氏と御懇意になつて二三度お會ひもし、常に文書の交換をもして居りますが、富豪とは思へぬ質素と謙遜の德の高いのに敬服して居ります。

一昨年上野公園の產業博覽會でお會ひしたときに、腰に大福帳のようなものを下げて居られますから、何ですかとお聞きしますと、是は小作人の名前をかいたものです。小作人は地主の親ともいふべきものであるから、始終手放したことはありません。

岡部氏の家庭

又一日お宿へお尋ねしますと、西洋封筒へ東京の繪はがきを二三枚宛入れて、一生懸命に宛名をかいて居ります。何ですかとお尋ねすると是は小作人に手紙代りに出すのです。面倒のようですが、東京を知らない家などでは大へん喜びます。何、お金は僅かなものです、一晩芝居見物をしたと思へばよいのです。然し何しろ五百枚もありますから、なか〳〵書けません。

大地主は澤山ありますが、こんな小作人思ひの地主は少からうと思ひ、お百姓の味方の私は、誠にうれしくなりました。



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

榮信氏は又文章がお上手で、農村改良阿呆陀羅經といふものを自分でこしらへて、書物にして、方々へ分配して居られます。其をみると、阿呆陀羅經の口調で田舍の爲になることが、もれなく書いてあります。

第一生水のんではならない。食器は熱湯かけるがよろしい

第二は魚類ぢや腐敗したのや、蠅公なんぞが集つて居るのはたべてはならない。

第三果物野菜と雖產地に病氣があつたら氣をつけ。

第四は衣服と寢具をほす事、疊や着物も日光消毒するのがよろし。

天道さまほど、尊いお方は此世にないのぢや。コレラの菌太も天道さまから、にらまれますると、直樣死にます。

第五は充分眠るがよろしい寢冷えは困るが眼病腦病神經衰弱眠るが藥ぢや、何ぼう寢るのが良いとはいふても、晝寢や朝寢は藥ぢやがんせん、老馬の如くに寢てばか居つては甚だよくない。

第六住所は内外綺麗に掃いたり拭いたり空氣の流通よろしく致して乾燥専一濕けてはいけない。

屋外溝渠や下水や便所は殊更氣を付け、塵芥汚物も掃除が大切。

積れば山ぢやと寢言を言はずに、サッサと急いで畑へやるなり燒くなり始末をつけるがよろしい。

第七衆人集る場所にはなるべく出向かず買食なんぞは勿論いけない。

第八例へば新鮮なり共能く煮て炙つてたべるがよろしい。

第九はブンブンうるさい蠅など征伐する事。

第十身體が不快であつたら直樣お醫者にみせるがよろしい賣藥なんぞを矢鱈にひんのみ素人療治をするのはあぶない。

是は衛生ばなしの一節であります。(まだある)



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

育兒
子守

# 一、乳のためし方
# 二、泣き聲の聞き分け方
# 三、着物の着せ方

中村春吉

中村春吉氏は、世界徒歩旅行者として有名な人でありますが、又家庭のしつけのことをもよく調べ、大抵の病氣は氏の特別の治療法でなほるといふことであります。以下三篇は、同氏の實驗に基いた意見であります。

## 一、母の乳の驗めし方

胎兒を産むと、乳汁を出すのが普通であります。併し同じ母乳ではあるがよく檢査すると母體の强さ弱さや平素の食べもの等に因つて誰も彼も同じ性分の乳汁を出すときまつてはゐない。故ら産婦が乳呑兒に乳汁を與へる時には、先づ第一に母乳を十分に試驗することが大事である。

そんならば母乳は如何して試驗すれば可いかといふに、一番造作ない方法は朱塗の盃か椀に搾り出して試すのである。兩方の乳房から搾り出した母乳が水の樣に淡いか、又は黄色い色をしてゐるのは決して

# 教へ草

## □母の心掛□

無線電信を發明したマルコニーといふ人の母は、マルコニーが小さい時から理學が好きであることを知つて、早速家のつくりや室の飾りを立て換へ、澤山の理學の標本を壁に掛け、理學に緣ある書物を集め、彼の室を理學の教室のやうにして、一層彼の理學の趣味を養ひ、勉强を促したばかりでなく、自分も理學を研究して、彼を指導したのである。マルコニーが世界一番の理學者となつたのは母の感化に依るといつて差支ないのであります

## □名士の母□

子供は母のお腹にゐる間から親の性質を受けるものだと申します。母の教育の大事なことは、今更申し上げる必要もありませぬ。今外國の名士の母しらべをしますと、佛蘭西の英雄ナポレオンの母は美しくて精力が非常に强く、亞米利加を獨立させたワシントンの母は純潔にして敬神の念に富み、英吉利の詩人のスコットの母は詩と歌を好み、英吉利



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

飲ましては不可ない。わけても水の樣な色の淡いのは可くない。こんな母乳は面倒でも一旦搾り出して棄てゝ了はねばならぬ。さうして色の濃い一定した母乳が出だしてから始めて飲せるのが宜しい。從つて母乳は毎日々々試驗を怠つてはならぬ。若し又乳房に凝結が出た場合には、產婦が自分で指の頭や手の掌で能く揉んで其の凝結を解き去つて了はねばならぬ。夫れを放つて置くと乳房は乳癌を病み出すようになるから、金に不自由ない家の人々は兎に角、中流以下の家では常に此に注意しなければならぬ。若も乳母が出ぬ場合には、醫師に診て貰ふべきは勿論であるが、兩方共出ないといふ事はめつたにない、大抵左か右か何方かが出るものであるから、片ッ方でも出る方を與へて牛乳だの玄米ミルクだの、重湯だのといふ樣なものは與へぬ事が肝要である。

## 二、子供の泣き聲の聞き分け

乳呑兒の泣き聲にはいろ〳〵あるが、其の中でも「ギイ〳〵」といつて泣く時は屹度筋を引きつけてゐる時である、醫者のよくいふ痙攣を起してゐる時である。此の時には拇指と中指とを伸ばして臍の上から脇腹にかけて強く壓へ、それから又た二の腕や內股の堅く凝つた部分

---

の宗敎家ウェスレーの母は、非常に信仰深い人でありました。そして、ローマの皇帝で暴政をして人民から呪はれたネーロの母は非常に性質が惡く、人殺しをしたことがある歷史に出て居ります。

### □仁義禮智信□

小供がてうち〳〵あはゝあたまてん〳〵なご手眞似で好なことをします、親も習はせます、其は、古人が子供の時から仁義禮智信を敎へてゐるのださうです。

てうち〳〵　○仁の心にて、兩手を合せ、和合する心也手打ち〳〵の略也

あはゝ　口をおさへ物を言はぬ心にてアッと感ずる體也、卽ち口を閉ぢて承る體也、○禮也

あたまてん〳〵　○敬の心を以て誡しめ恐れしむるの心を示したるもの

かいくり〳〵　かいは世界也、九天の巡る中より發明する智也

おいで〳〵　○信の心也まことは無我也（昔ばなし）

### □結婚の格言□



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

を熟と摑んで緊張つた筋肉を緩和め、適當の醫師に診て貰ふが可い。然し醫者は此場合注射をするのが常であるが、慌てゝ注射する事はどうもよくない。

## 三、衣服の着せ方

赤ン坊は生後三十五日迄は兩の手を胸の上に疊んでゐるのが常である。此を無理に引き伸ばさうとするのは却てよくないことである。三十五日迄は無理に手を袖に通させなくても、縮めた儘で衣服を着せて置くがよい。それが自然である、それから衣服を着せて紐を強く引き締めるのはよくない、殊に身幅の狹い衣服を着せる場合抔は尚の事で無暗に衽をひき合せんとする時は、只だ衣服の襟で首筋を締めるのみならず、胸廓の發達を害して、終には恐しい肺病の素因を作り、又た腹部を強く締める結果は胃腸の疾患を惹き起すに到る。現今靜坐法の發明と共に腹腔を出來る限り膨らますことが流行つてゐるのは洵に歡ぶべきことで人の幸福をそれ丈增す由である、又た中には赤ン坊の腰部を襁褓だの布帛だので窮屈に卷きたてるものもあるが是れ抔も體育上恐るべき弊害である、親は僅少な物だと想つてゐても赤ン坊の爲には大人が三升樽を股に挾んだ以上の窮屈さを感ずるのである、而もた

---

一

男は自ら專ら娶らず女は自ら專ら嫁せず必ず父母により媒妁を須つは何ぞ、恥に遠り淫逸を防ぐ也(支那)

二

女は貴き賤しき、品あまたありとも、一筋に心を專らに守るを第一とす、たとへば位貴き人の萬の道に賢くとも、貞心專らになくば女とはいふべからず(大納言佐安德天皇御乳人)

三

金錢の爲にする結婚は己れの自由を賣る也(獨逸)

四

戀愛の爲の結婚は、樂しみの夜あれども、悲しき晝あり(同)

五

獨立せざる中に妻を娶る人は、職業えざる中に死すべし(英國諺)

六

秘密に結婚する人は公然に辱しめらる(英國諺)

七

煩なき結婚は、同等の地位よりするにあり(獨)

八

妻を迎へんと欲せば先づ家を造れ(佛)

九

「ハスバンド」(夫)とは、「ハウスバウンド」



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ゞ窮屈を感じるのみなればよいが、大腿骨を壓つける結果は取返しのつかぬ惡影響を發育上に及ぼすのである。又日本人は赤ン坊の腋の下に手を入れて差上げ、赤ン坊が苦し紛れに苦い笑ひを漏すのを見て、赤ン坊が歡ぶのだと思ひこみ頻りに差上げ差上げして面白がる癖があるが、何たる無遠慮な無慈悲な事であらう。赤ン坊は差上げられる度毎に腋の下の筋肉を壓しつけられて、赤ン坊は知らず識らず健全な發達を害されてゐるのに親の氣は着かぬのである、是が保護者たる者の無遠慮無慈悲であるまいか、畢竟日本人は舊來赤ン坊を玩弄扱ひするから起る弊害である、之を以ても國民の多くが如何に衞生思想に乏しいかを證據だてるものではないか、元來赤ン坊のすることは凡て發育上に必要なる運動である以上は、赤ン坊の自由をやたらに止めることはよくない。從つて赤ン坊を抱いたり背負つたりするはよくない、赤ン坊は寢かして置くに限る、匍ふのや手足を伸すのは自然に發露する體育の運動である。又赤ン坊を寢かすのには疊の上よりも「ハンモック」などの上の方が適當である、赤ン坊の自由を妨げずに育てたならば七箇月にして既に「トチ〳〵」と歩み、誕生日頃には自由に歩行が出來るのは經驗上少しも疑ふ餘地のないことである。

---

（家の束れ）の文字より轉化したる者である

人の元氣を消耗せしむるに最も力あるものは一家内の細事にして案外に外部の困難は忍耐し能ふ者なり（勝安芳）

## □數へ歌□

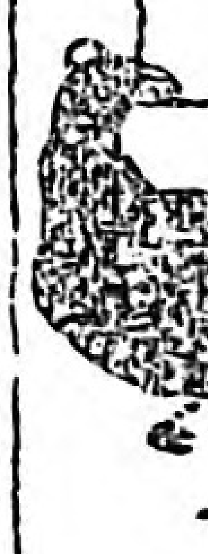
一つさや　人はみめより容より　心一つが大切よ〳〵
二つさや　ふりや姿を飾るより身の行を正しやんせ〳〵
三つさや　見たりきいたり多くして心に善惡區別せよ〳〵
四つさや　美いもわるいも心から心はわが身の主なり〳〵
五つさや　如何になり振りよいさても身持ち惡けりやれうちない〳〵
六つさや　無理なやうでも父母や目上の仰せは守らんせ〳〵
七つさや　何ほど學んだからさても學問誇げいに限りない〳〵
八つさや　優しき言葉は聞いてさへ床しきものなり心せよ〳〵
九つさや　心一つを油斷なく萬事に注意を配らんせ〳〵
十さや　兎角女は何事もうちわにするのが身の德ぞ〳〵

（金戸彌一郎氏作）



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

# 處女會の催し



## ○席上揮毫

演壇に筆や墨を用意し、「松竹梅」「乙女の操」などの文字を會員や來賓の前で書くのです。妹に當る小學校の少女達を集めて競書をさせるのも、姉さんの處女會としてふさはしいことであります。

## ○作法實演

地方の風俗にふさはしい作法を實際にしてみせることです。お茶の出し方、お膳の配り方、挨拶の仕方などいろ〳〵することがありませう。

## ○物品の贈答

品物のやりとりを實地することで、お話の稽古にもなります實際の通りにするのもよいでせう。

## ○處女會話

或る事柄について處女會員が問答又は會話し合ふのです。二人でも三人でも其以上でも宜しく幼女をもお加へなさい。對話の材料は處女會で作るなり、又は敎科書や雜誌にあるを使ふのがよいと思ひます。家事家政科學天文などいろ〳〵ありませう。

## ○塗板畫

塗板に白墨で畫をかくのです目隱しゝて描くのも面白くあります。又席上で畫を描くのも趣があります。松竹梅や蘭など補習學校で時々お習ひなさい。

## ○珠算

算盤の競爭で、敎師が讀み上げるのもよし、商店か會社で實際に勘定する樣子にするも面白ります。なるべく實際のようにしたいと思ひます。多少假裝するのもよいのです。

## ○裁縫

大急ぎで一寸したものを縫ひ合ふのも面白いのです、又特別な珍らしい仕立物を說明しながら作り上げるのも趣があります親と子供になつて問答しながらするのもよいのです。

## ○活花

活花などは、都會的のようですが、是からは、投げ挿位心得て置かれば風流でありません佛樣の花の挿し方、緣喜のよい花わるい花、水揚法など說明しながら實際にしてごらんなさい

## ○看護子守

子供や老人の病氣や怪我の手當看護の實習ですが、人形や模型を使ふのもよいのです。繃帶卷などをするのはよいことであります。此の場合に簡單に病氣の手當藥の用方などをお話しなさい。又子供の抱き方、着物の着せ方、ミルクの與へ方などをも實際にやつておみせなさい。

## ○料理

すぐ出來て趣向の面白い料理やお菓子を作るのも面白く、出來たものは、お客さんに振舞ひあとは會員が食べ合ふのです。材料は各自持ち寄るのです。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

敎訓 お伽噺

# 雀の恩返し

其の二

お婆さんが瓢箪の口を切つて振つてみますと、中からお米がバラ〳〵こぼれて參りました。餘りの不思議さに、外のをあけてみますと、どれもみな一ぱいはいつて居りましたので、家内中大喜こびで、是はあの雀が恩返しをしたのに違ひないといふことになり、お婆さんの鼻は急に高くなりました。

是を聞きつけて、近所の人は大勢で喜びに參りましたが、隣りに、近所で嫌はれて居つた慾深婆さんが住んで居りまして、此の話を聞き羨しくなり、根ほり葉ほり顛末を聞きとり、私もひとつ雀を飼つてこんな珍らしい瓢箪を作りたいと、其から其ばかり考へ込みましたが、生憎怪我をしてゐる雀は居りませんでした。

するとある朝庭に雀が澤山こぼれ米を拾つて遊んで居りました、是はよい鹽梅と、お婆さんは側の石を拾つて力任せに打ちつけますと、その一疋に當りましてバタ〳〵ともがいて居ります、お婆さんはほく〳〵喜んで、

「お〻腰を折つたか氣の毒だ〳〵可愛がつてやるよ」と隣りのお婆さんのしたやうに、箱に入れたり菜の葉を呉れたりして丹精しましたが、此の婆さんよく〳〵の慾深と見えて、もう二三疋も丹精したならばもつと澤山お米がとれようと、また雀の群へ石をぶちつけ都合三疋を桶に入れて飼つて置きました。

十日ほど經つと雀の傷は癒りましたのでお婆さんは早く瓢の種子を澤山くわへて來いと頼んで放してやりました。二三日經つと思ひ通り雀が三疋來まし



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

て、庭に何か種子を落してゆきました、お婆さん頬相崩して喜び三ヶ所に蒔き、肥料をやつて丹精しますと勢よく伸びまして、七つ八つ大きな瓢が生りました、お婆さん大喜びで家の人達に今にお米を澤山とつてみせようといつて居りましたが隣り近所へは一つも振舞ひませんでした、すると孫達が、

お隣りのお婆さんは、方々へ分けてあげたから、お米がなつたならお婆さんも分けておあげなさい。

と申しますので、二つ三つ近所へ分けお婆さん達も、食べてみますと、何んとしたことか口も曲るほどに苦く、四方八方から叱言が出ました中には病氣になつたものさへありましたが、お婆さんは

是はお米が生らうとする大事の時に、早く取つたからに違ひない、

といつて負けをしみをいつて居りました。

其から一月ばかり經ちますと、今度こそ立派な瓢簞になりましたので、皆切り取つて持ち歸り家内中のものを集めまして、お婆さん恵比須様のような顔して

さあ今からみなによいお米をとつてみせる、なか〳〵重いで澤山あるぞよ、近所でさぞ羨しがらうが、めつたにいふでないぞ

桶や盥を座敷の中に持ち運ばせ、いよいよ瓢簞の口を切りますと中から虻、蜂、百足、蛇などがぶん〳〵によろ〳〵と飛び出し、這ひ出しお婆さんの目と言はず鼻と言はず刺し食ひ巻きましたので、大聲あげて仆れました。（たわり）

是は處女會員の方には、あまり無邪氣すぎるお話でせう、然しみなさんの弟さんや妹さんたちには、よいお話しと思ます炬燵にあたりながらよんでお話してあげて下さい。とき〴〵かういふお話をのせます。

# 高須かつ子嬢

東京の女はみんなおしやれで、花見遊山に耽つてゐると思ふのは間違ひ、骨身を惜まず家の爲親兄弟の爲に一生懸命に働いてゐる女も少くありません。高須かつ子さんのごときは其の最も感ずべき人の一人として東京府知事さんから先頃お褒美をいただきました。

私がかつ子さんをおたづねしましたのは十二月七日の夜でした。狹い暗い路次を人に聞き〳〵してやつと搜しあてまして、入口をあけまして、

高須さんはこちらですか

と申しますと、ハイと答へて顏を出しました二十三四の女、是が尊敬すべきかつ子さんであると思つて私は口きかぬ中もう胸が一ぱいになりました。

失禮ですが、全く大きなお家ではありません。臺所も洗しも、入口もひとつ口で、部屋は一間きりしかありません、丁度今お食事の最中でした。

かつ子さんに初對面の挨拶に兼ねて、あなたの御孝心のお深いことに感じて、わざ〳〵參つたことを申し上げ、其から耳の遠いお祖母さんとお母さんと二人に挨拶をしました。お家族は是きりでした。

私はいろ〳〵かつ子さんとお話をしたあとで、尚よくお祖母さんお母さんを大事にして下さい、其はあなただけの爲でなく、何百萬といふ女の爲になりますと申し上げ其から心ばかりの品をさし上げますと、かつ子さんはもとより、お老人は嬉しさに泣いて下さいました。

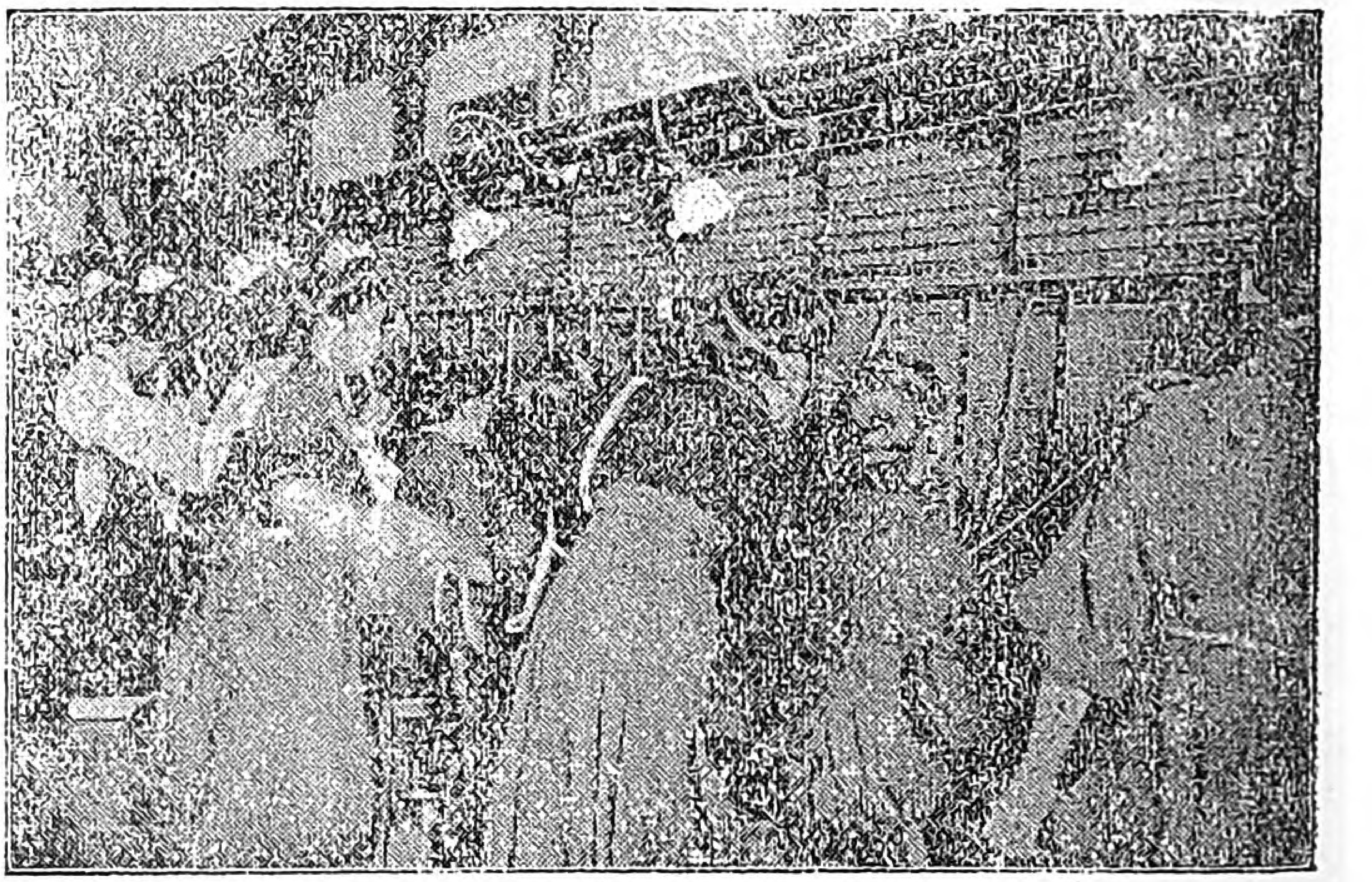
聞けば、今日は區役所からお褒美をいたゞいて今お



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

歸りになつた所であるといふとで、表彰狀をも拜見しました。十五の時から家の爲に工女となり、去年お父さんに別れてから一層甲斐々々しく働き、二十四才になるまで、浮いた行一つあるでなく十年一日のように陰日向なく働いて居ります。大抵の若い女が、紅よお白粉よショールよ洋傘よと噪いでゐます娘時代を、こうしてまじめに送つて居られるかつ子さんの前途をば、神樣がきつと〱守つて下さるでせう。婦德の高いことは、使つても減らぬ嫁入道具一生のお寶、今によい婿さんが出來ることでせう。

尙ゆつくりお話ししたいのですがお食事中でしたからまたおたづねすることにして、お老人には、お身體



モシ〱あなたは處女會の方ですか、私共のことがこのつぎに出て居りますからよんで下さいましね、デハさよならチリン〱

を大事になさるよう、かつ子さんには、尙ます〱御孝心をみがかれるよう申し上げてお暇致しました。かつ子さんは私に外套をかけて下さいました。

❋

井上東京府知事の表彰文をおよみ下さい。

東京市京橋區本湊町　高須かつ

資性溫良品行方正幼にして至孝節義を尙び年甫めて十三父母共に病床に臥するや專ら看護に注ぎ尋で父歿するに及び爲に悲境其の極に達し某會社の女工となり又家に在りて内職に勵み細少なる勞金を得て一家の糊口に供し病母並祖母に事ふ明治四十一年以來十餘年の久しき刻苦精勵能く生計を支持して孝順を守る等世道に裨益する處尠からず依つて金十圓を賜ふ。

東京府知事　井上友一



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

婦人職業

# 電話交換手

田舎の婦人は皆農業といふ職業をもつて居りますが、東京には、家の仕事でなく、家を外にして働いて居る婦人が澤山あります、是は勤勞の心を養ひ、世間に馴れ又お嫁入の仕度をする上に、よいことであります。然し身體の爲や、婦德の爲にどうでせうか。こういふことをも地方の處女達はよく知つて置かねばなりません。是から本誌は東京にゐて働いてゐる女のことを少しづゝ御紹介しませう。其は皆樣の知りたいことの一つと思ひます。（婦人記者）

十二月も末の一日私は本局の電話交換局をみにゆきました。案内を請ひますと係りの方が來てお話しして下さいました。

本局には七百人の交換手が居りまして、寫眞にあるように、一人で何十本といふ電話の線を繰つて、目のまわるように早く何番へ、何番へ、とつないで居ります。本局の外に、小石川とか、芝とか、神田とか都合十一の交換局を合せますと

### 四千人からの交換手

が居るさうです。

# ふる里の友へ

東京 橘きみ子

御無沙汰致しました。お寒くなりましたれいつも皆樣御變りなくて何寄に思ひます。さりいれもあらかた終へたことゝ思ひます。晴れた日に富士山を眺めながらあの田圃で穗を扱いでとりいれしたことを思ひ出しますよ。圍爐裏に火を焚いてお芋を燒いて食べたことも。オホヽヽヽ

此の間の休戰の祝賀會は其は〳〵賑かでしたよ。其の日は特別にお休みでしたからお孃さん達と日比谷を見にゆきました。大勢な人出で

### 二重橋の前

は人で一つぱい。夜は提灯行列があつたさうですが、あぶないのでよしました。砲兵工廠の職工が一萬人とか、手に〳〵旗を持ち、「正義は平和をもたらせり」と歌ひながら樂隊を先頭にして練つて來ました。若い人も居りますが、腰の曲つた五十六十位の老人も居りました。私は其の老人が若い人と一所



Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

大抵十三四から十六七の娘が多く、中にはお嫁にいつてゐるのもあるといひますが、極く少いようです。白いお揃ひの事務服を着まして耳に受話器をあてがひ、左右の手を早業のように動かしてつないで居ります。一番忙しいのがひるの十時から十一時までの間で、夜はひまださうであります。

『手當は』と聞きますと、見習ひの間は日給二十八錢位で、其から三十錢となり四十錢にのぼり、五十錢はよい方だと申します。之に特別の手當がありますし、年に四回賞與もありますので、よくつとめますと、二十五六圓になるさうですが、大抵永くも二三年でよしてしまふさうです。

金持の娘は少く、大抵中流以下の暮らしをしてゐる家の娘であるさうです。さうしてみんな親の家に住み又は親類の世話になつてゐるもので、一人で下宿屋などにゐるものは一人もないと申します。其筈で

### 十五六圓の收入では

下宿住ゐも出來ません。又身の爲にもなりませぬ。

田舍から來てゐますかと聞きますと『さあ其迄は調べたことはありませんが、言葉に訛があつたりして、田舍からすぐ來た女では、よく馴れなければつとまりますまい』と申しました。然し毎月募集してゐ

に草鞋脚袢をはき、お辨當腰にさげ日の丸の旗を振つて、手帳にかきつけた歌をみながらならんで歩るいてゐる所をみまして、何んだか悲しくなつて來て

### 涙がボロ〱

出て胸が一ぱいになりました。美枝さん何故かわかつて。

一時頃歸りました、そして大藏省の前に來ますと、黒山のように人が往來に居ります見るとこわれた人力車が一臺と自動車が二臺、人力車夫が巡査に調べられて居りました。

「ねえ可愛さうに、子供は死んだんですつて。そしたらお袋さんも目をまわしてれ」

女の人が話して居りました。聞いてみますと、今日の行列を見に、ある所の奥さんが親類の方と一所に子供さんを抱いて人力車で日比谷へゆこうとすると、後ろから郵便自動車が來て、前から來た電車をよけようとして人力車にぶつつかつたのださうです。みんな可愛さうだ〱といつて居りました。

美枝さん、人はいつどこでどんな災難に會ふかわからないものねえ。お氣の毒なのは其の家の方です、今日のお祝ひをみようと思つてこんな悲しいことになつて。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ますから若しお望みの方があれば、局へ紹介しますれば、手續はわかります。然し今いつたように親類か何かに居りませぬど、到底食べてゆくことは出來ません。

身體はどうですかときゝますと、さう害にはならないようですとのことでした。然し、一日（休みはありますが）腰かけて、耳と手ばかり働かせてゐることですから、田舍の婦人に比べて、よくないことはいふまでもなく、胃腸の病氣も多く、肺病もあると聞いて居ります。

『お嫁にいつてから、交換手をしてゐたといふことが、どういふ爲になるでせう』と聞きますと、むづかしい問であるといふような風をして『よくわかりませんが、あのように素速く手を働かせてゐますから仕事が早いと思ます、又耳を使ふ仕事にもよいでせう』とのことでした

話をつなぎながら自然と世の中のことを覺えますかと、きゝますとどうしてそんなどころではありませんとのお返事でした。

貯金をすゝめて居ります、一人で六百圓も貯めてゐる女も居るさうです。身體に害がなく、これだけの貯金が出來ればえらい働きで、

## お嫁入の支度が

十分出來ます。休憩室も食堂もあります、雜誌もあります『處女の友』を一冊寄贈して來ました。時々交換手の作つた袋物や手帳や、編み物などの展覽會を開いてゐるさうです。又毎年一回慰勞の遠足があるさうで、是を何寄のたのしみとしてゐるさうです。

---

## 此頃の市中は

大賣出で賑かですよ。神保町あたり一軒並に旗をたてましてね、福引をしたり景品を出したり樂隊をやつたりして人を呼んで居ります。然し美枝さん、私は早く田舍に歸りたいのよ。何んさなく、心にものさびしい、たよりない氣がしてね。あの笑つちやいやよ。私のようなものでも、お嫁につて時々いろ〳〵いつて下さる方があつてね。けれど、いつも奧さんにさう申してゐるのよ。『田舍にくらしたうムいますつて』氣がゆつたりして、田舍が一ばんよいさ、此方へ來てから思ひましたよ。つく〴〵されえ。人は矢張ほんさうにやつてみなければわからぬものねえ。早く田舍に歸りたいこさよ。どんなに寒くさも、つらくさも、身體の骨折りなんぞなんでもないさ思ふわ。東京へ來てから旨いものを少しもないですもの、大根曳やかぶ漬を思ひ出します。夜歌を歌ひながら唐箕で籾を落さしてゐる夢をみてよ。ふつさ目をさますさ、其は電車の音でした。あなたは東京へ來たいつて仰言る。少し替りませうかオホゝゝ

すゞ子様へ

婦人講談

# 妻返し松

大久保四州

□

讃岐の國は仲多度郡、音に高い金毘羅宮の北二里に金藏寺と云ふ小さな町があります、弘法大師誕生の善通寺から半里許りを距てゝ、此處の金倉寺と云ふのが四國巡拜の名高い札所になつて居ります。金倉寺は、大師修業の古蹟とあつて、一夜建立堂、自鑿の佛像、其他何々の尊い佛跡を遺してある、隨分古い寺であります、維新後、神社佛刹の衰微と共に、此古刹も次第に寂びれては來ましたが、境内つゞきの廣い松原は、今も老松の影面白く白砂に映じて、大伽藍、堂宇、庫裡其他の古い建物も、一部ながら昔の面影を止めて居ります、風靜かにして、鳥の聲高く、石燈苔深くして香烟古に通ふと言つた誠に閑寂蕭寥の境内であります。

明治三十二年の冬も暮れて、師走の空風が西の彌高山から眞向に吹颪して來ます、ハラ〳〵と散る紅葉の上に、曇つた空から時折霰が音立て、落ちて來ます、さしも暖國の讃岐にも、冬の景色はもう整つて見へました。

「又一降り來さうだから、寒くては、閣下の御病氣に障らなければよいがなあ」



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

金倉寺の奥庭に、箒持つ手を休めて、周章しい雲の動靜を仰覘げた馬丁の鎌次郎は、不安顔に眉を寄せながら呟くのでありました。

「鎌次郎さん、お客樣のやうですよ」

「お客樣、師團の方かな」

「いゝエ、東京からぢやと仰在て御座りました」

「東京から！　どこぞこに、もう奥樣の御着きぢやらう、御案内して呉れりやいゝに――」

「だが是非あなたか、葦原さんにと仰在つてお待ちです」

鎌次郎は、箒を抛り出した儘、倉皇と馳け出ました、山門の傍のとある松の木の下に、夫人靜子と、勝典とが、悄然として人待顔に、立つて居るのでありました。

「オヽ、これは奥樣に若樣も、ようまあお早々と、御入來下されました、鎌次郎生れてこんなに胸の安まつた事はござりませぬ」

「お前始終達者でか、今度は又閣下の御病氣で嘸ぞ骨が折れたであらう、御樣子はどんな



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

です」

「イヤもう何からお話申してよいやら、――オヽそうぢや、こんな吹曝らしではお話もなりません、御挨拶は次の事、サヽお入來下りませ」

「イヱ〳〵、日頃の御氣象で、又どんなお叱かり受けやうも知れぬ、お前退義ながら一寸伺つて來てお呉れ」

「お叱かり?、何のお叱かりが御座いましやう、遙に東京から御病氣見舞に見へられて、それをお叱かりなされて堪まりましやうか、御病室には、看護卒の森江が一人附添つて居りますだけ、外に御遠慮は要りませぬ、早う御對面なされませ、若樣、サヽ奥樣を御勸め遊ばして……………」

「さうでない、念の爲め一應お前からお伺ひして來てお呉れ」

一刻も早やう夫の身が案じられてはなりませんが、赴任の當時、

「俺が來いといや許しのない限り任地に來るに及ばん」と固く命令られてあつた夫の言葉は、よし病重しと聞いた今際にも、尚ほ夫人の胸は重もい力をもつて居るのでありました。

「そんな御遠慮が要りましやうか――」

鎌次郎はブツ〳〵呟きながら離房の方へ取つて返しました。

明治三十一年十月、那須野に靜臥して居た乃木將軍は、第十一師團長として、讃岐善通寺に赴任しました、精勵格勤、身を以て卒ゆる將軍の勤勉と、嚴格質素の訓練は、僅か一年許りで、風儀のよろしくなかつた此の新設師團を、一躍して模範師團と迄貴められるやうに薫陶したのであります、併し寒暑を厭はず、晝夜を意とせぬ精勵の結果は、遂に三十二年の冬に至つて、ふとして感冒から次第に病



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

勢を募らせて、我慢に我慢を重ねた末が、とう〳〵肺炎の重態に陷ちて了つたのであります、東京は赤坂新坂町の家に、淋しい留守を預かる靜子夫人が、葦原副官から電報を受取る迄、一年有餘の長の月日に、唯の一度として、將軍からの便りと云ふものはなかつたのであります。

日頃月頃夫の身の上如何に案じ煩ふ夫人の、突然の電報を見た時の愕きはどんなでありましたらう、夫の固い命令も思はぬではありませんが生死を控へた夫の大病を耳にして、何で此が默つて他所に過ごされましやう、夫人は意を決して長男勝典を伴なつて、鐵路を西に、讃岐路を指して下つて來たのでありました。

□

「鎌次郎、どう仰在つた」

馬丁の鎌次郎は、浮かばぬ面に涙を湛へながら出て參りました。

「ハイ………」

始めの元氣は消え果てゝ、捗々と返事をさへなし得ないのであります。

「閣下のお許しがありましたか」

「…………………」

「オイ鎌次郎、如何迄も寒い處で立て居ちや、風邪を引くぞ、殊にお母樣は、長の汽車でお疲れなされて居るんぢや、お許しがあれば直ぐ案内して呉れ」

勝典も、もどかしげに口を添えました。

「オ、奥樣にも若樣にも……鎌次郎お情けなう御座りまする」

今迄默つて居た鎌次郎は、此時聲を揚げて男泣に、咽せ入るのであります。(まだある)



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

教訓笑話

# 三十一文字の

## 夫婦喧嘩

天保老人

◇

何んと申しても、夫婦仲のよろしいものはうるわしいものでムいます、家庭敎育と申しますのも和合した夫婦の中のしつけといふことでありませう。此に反して、夫婦仲わるく、喧嘩口論の絶え間もないといふ家庭は醜いばかりでなく、子供を育てる上に一番よくないことであります。

ある所に仲の悪い夫婦が住んで居りましたが、其の隣りに歌よみが居りまして、

どうも隣りのように夫婦喧嘩の絶え間ない家はない、仲直りさしたいが、夫婦喧嘩の仲裁はめつたにもならぬ。

としばらく考へました末ハタと手を拍ちました。其は『夫婦喧嘩の口説を三十一文字の歌でさせることにしよう、すれば自然と氣も落ちつき、風流にもならう』といふ思ひつき、其から直ぐと隣家へゆきまして、歌の作り方を敎へ、今までのように手荒い言葉で喧嘩の賣り買ひをしてなりませぬぞと戒めました。

歌よみの忠告を隣家夫婦は守ると約束しまして翌くる朝に



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

なりますと、そろ〳〵また始めました。

てめいの樣な猿の顏に壁土塗つて、黑豆と小豆を振蒔いた樣な面な嚊を、それなればこそ、八年と十年と辛棒し居つたんだぞ

と惡口つき始めまするゝと、

これ〳〵お前さんは昨夜のお宗匠さんの言はれたこと忘れなさつたか、今の惡口は、三十一文字かいな

夫は

いや歌には前書といふものがある、それが今いつたのは其の前書きで、これから歌をよむんぢや、よつく聞きゐやれ

とひと息に毒口ついて歌ひ出しましたのは

小豆餅の樣な面をはふくらかし
　なほやきもちをやくたいもなき

妻は味噌すりながら、顏色換へて

またしても又惡性をすり鉢の
　嚊が顏まで味噌をつきやるか

夫はまた返し歌しようと思ひましたが、何分初心のこと故旨くよめず、喧嘩は今日は是ぎりと濟ましてしまひました。

翌くる朝宗匠に昨日の顚末を話しますと、

初め手にしてはよく出來た、此分では天下に名を擧げる歌よみとなるだらう、して明日からの喧嘩は春夏秋冬つまり四季の心を入れてよまれたならば一層風流であらう、つまりご亭主が先づ春の季節を入れてよむと、細君は夏の心を以て返歌し、ご亭主はまた秋の時節をよみこみ、其を冬の心にて受け答へる樣にするのである、そしてなるべく優しく風流によむことですぞ

こう宗匠に敎へられて、なるほど其は面白からうと夫婦は早速實行にかゝり、腹の蟲の起るのを待つて亭主は考へ出しましたが、春の心がなか〳〵入らず、手間取つてやう〳〵

散ればこそ櫻はいとゞ目出度けれ
　こちの嚊めも早う死なぬか

とよんで細君の顏を眺めました、細君は、多年心を盡



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

して仕へ來りたるに、早く死ねとは口惜しい、めつたに死んでたまるものかと

ほとゝぎすなきつる嚊は長生きし
阿房親父のあとに殘らむ

亭主はおのれ其の儘置くべきかと

秋が來る顏は紅葉のつらにくや
腹が立田の山の神めが

妻は我慢がしかねて、もう歌どころでない、眞劍ぢやと磐若の顏色して飛びかゝらうとしましたが、此だな宗匠の仰言つたことはと我に返り優しい氣持となり

寒氣よりはげしく當る親父めへ
熱燗一ぱい飲ましてやりたや

是で其の日の喧嘩は打ち止めとなりました。

◈

宗匠へ此の始末を申しますと、大層ほめられ今度はご亭主は『かんにんするが家の福德』といふ下の句に合ふように歌をよみ、細君は『まけてさへゐりや其の身安心』といふ下の句にかなふように歌をよむようにと敎へて返しました。

其中また氣に入らぬことが起つたので、

惡い嚊橫面一つくらはそさ
堪忍するが家の福德

とご亭主よんでみたが、是では下の句がつかぬ、いろ〱考へてみた末に

嚊殿がやきもちづらをふみつぶし
かんにんするが家の福德

是でも末の句に合はぬので『嚊よ、今朝は手前から先きへよめ』細君はこういはれて、さらばお先きへと

惡性な親父の面のつらにくや
まけてさへゐりや其身安心

とよんだが、矢つ張是はいけない少しまたつしやれと

去るならば銀澤山につけて來ませ
まけてさへ居りや其身安心

まだ下の句が合はぬので、今日は如何しても喧嘩が出來ません、もう少し二人して考へてからにしませう、と細君が申しますので『ウム其もよからう』其中ご亭主は、出來たと膝を打つて高らかに歌ひ出しますには

わがよきに嚊の惡しきは無きものぞ
堪忍するが家の福德

細君は手を打つて、さてもよく出來なされた、私のも出來て居るほどに、よつく聞いて下されと

何事も我をあやまり從ひて
まけてさへゐりや其の身安心

是で夫婦仲よく一家睦じく家も繁昌したと申します。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

# 文學あそび

## 一　語呂合

（原語）勤といふ字に二つはない
姫の給仕におかずは鯛
小言もいふたに利目がない
含めて置いたに不覺な妻

（原語）月落烏啼て霜天に滿つ
海より明るくなつて市の電氣消ゆ
かき餅かなり燒て香もプンと立つ
圖にのりだます詐欺め見ろ嫌疑きる

（原語）紅葉の樣なお手で目隱し
お召の樣子奥へ行けかし
闇路夜な〳〵土手で磯節
路次にも賊が寄せて手さぐり

## 二　ものは

（題）きれいなものは
出來たての銀貨
白魚の腹
御殿の便所
處女會の精神
飾らぬこゝろ
鴛鴦の思ひ羽

（題）厄介なものは
獨り者の頓死
啞の迷子
近火にお產
義理ある居候
雪隱の雨もり

（題）赤いものは
緣の糸
泣きはらした目
小猫の首輪
下手なお淸書
蚊帳のへり

## 三　廻し文（上から讀んでも下から讀んでも同じ）

○俳句の部

御異見がしみてして見し寒稽古
長居する妻は母待つ留守居かな
仕方なし見越しの仕込品高し
長き夜の狐こそ來ね月のよきかな
子は誰ぞ二度まで窓にそれた羽子
孫乘るは喜ぶ頃よ春の駒
妻の琴やさしらしさや床の松
長き葉に伸る春日の庭木かな

○短句の部

婦人難產難澁
飯におにしめ
どんな花名はなんと
無妻を諫む



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

留守に何する
わたし負けましたわ
妻堤をみつゝ待つ
失せましたいかゞいたしませう
待つはつらいといらつは妻

四 前句附

（題） 暗く明るくあつく冷めたし
トンネルを出て日盛りの 氷水
ちよと入りちよと出る夏の冷藏庫
世の中の人の心の底はみな

（題） 可笑しくあれど腹も立つなり
當てにした同志の財布空と知れ
二つ三つふけて見られた嫁の年
居眠りに停車場をのりすぎて
妻 若く娘とばかり見違はれ
碁にまけて氣のつく膝の燒焦は

（題） 上にしようか下にしようか
雛 段にかざる人 形の數々は
大きさが同じに出來た 鏡 もち

（題） こは如何に
どの顋が動くと與太は訊れられ
下座敷二階もお手が鳴つてゐる
姉もよし妹もわろくないさうな

（題） 判つて居れど言はうか言まいか

五 下の句附

紅葉の樣なお手でめかくし
怒る御前の膝に吹殻
代つて引いたみくじ大凶
お客の膝についた飯つぶ
あれからこつち姫のわづらひ
田舍紳士にすりの道づれ

六 冠つき

（題） こは如何に
三人きりかと蒙古王
よばれた筈に頭わり
鞘を拂へば赤いわし
火元が保險會社とは
いざりが雨でかけ出し
鎖ばかりがぶら下り
花笠取ればひげ男

（題） しまつたり
飛びそこれたる濁り水
たまのお世辭が氣をそこね
賣つた債券當つて居
近道來たが橋がなし
名前書かずに火事見舞
手からすべつて玉子割れ
背をたゝけば人違ひ
夫ちやあすこであの時に

七 かくし題

お前のためとも（爲朝）なるなら私も
今日よりよし（頼義）ます好き酒
咲いたま（埼玉）がきのきれいないばら
切（茨城）るにじやまする針がある
思ひすぎ（杉）かや（榧）まつ（松）身はとかく
こゝろもみ（樅）だれて眠られぬ
起き（隱岐）出づ（伊豆）るかい（甲斐）なし
闇のほとゝぎす
書き（柿）置にみなし（梨）兒のこさくり
（栗）返し
息（壹岐）かけたかがみの（加賀美濃）如
しおぼろ月



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

# お話の泉

## ○出家した雛子

ある山寺の御坊さま、雛子を生捕つて内所に食べようと思ひましたが料理法を知りませんので、生きた儘で毛を引きました所、折悪しく擅家の人が來ましたから、衣を被せて隠し置き、四方山の話しをしてゐる中に、雛子は衣を冠つた儘二人の中に飛び出しました、するとお坊さんは、おどろきながらもわざと澄まして

此の雛子は佛心を起して色々止めましたけれど聞きませんので、是非なく今髪を下しました

と申しました。其から此お坊さんのことを雛子のお坊といつたさうであります。

## ○母の頭の禿

ある小學校の女生徒が、一日泣きながら歸つて來て、

お友達がお前のお母さんの頭は禿げてゐるといつて笑ふから悔しい

と申しますのでお母さんは

お母さんの頭には譯があつて、此迄何事も話さなかつたが、今始めて言つて聞かせてあげませう、今から五六年前の事であつたがお客があつて、奥の室にゐると、お前が這つて熱湯の藥鑵の傍へ行つて障らうとする所なので、障つては大變と吃驚してお前を除けた拍子に熱湯を頭に浴びたので、こんな火傷になつたのです

# 五十四年操を守つた 貞女鶴女の話

## □ 十六歳で夫に別る

大阪のお鶴といふある金持の娘が、ある人の媒介で、豪家へ縁づき間もなく、子供をもうけましたが、十六歳の時に、夫は病死をしました、兩親と實父母とは相談して再縁をすゝめましたが、

夫が早く亡くなりまして、お父さんお母さんに十分孝行を致しまする事が出來ませんでしたので、せめて亡き夫に代りまして、此の子を育てながら御兩親樣に御仕へ致したうございます。

といつてどうしてもききませんので、一同お鶴の決心に任せました鶴子は身を愼み、愛兒の養育に力を注ぎ、舅姑の最後を厚く弔ひました。

## □ 極樂にも鶴女なし

姑さんは亡くなられるときに、枕邊に居つた親戚の人々に向ひ

『私は是から極樂へゆきまするありがたいとでございますが、極樂へゆきましても、お鶴のような佛樣はありますまい。わが子を賞



Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

といふのを聞きまして、媳はお母さんの慈愛に感じて

お母さん是からはどんなことを言はれましても決して構ひません

## ○親のお蔭

昔し京都の三條橋の下に、親子の乞食が住んで居りました。ある日其の橋の上を、立派な武士が通ります、其をみた乞食の子は兄に向ひまして、

何んと立派な士かいな、俺らも人間に生れたからには、一日でもあんな士になつてみたいな、

と、羨しがりますと、兄は

いかにも立派な士であるが、あれでゐてなか〳〵心配ごとが多いのだぞ、金や位があるだけに苦勞もあるのだぞ、金も家も自分もない俺らが方が一番氣樂さ

横向に寢て我兒の問答を聞いてゐました親の乞食はムク〳〵起き上つて、

さうださも、して其は誰のお陰と思ふか、親の恩を忘れてならんぞ。

といつたさうです。

## ○佛蘭西婦人の化粧

佛蘭西の交際社會に出る婦人の化粧の叮嚀なことはお話以上の有樣で、先づ朝は床の中で珈琲を飲み、起きて一寸顔を洗つて役ゐるま湯の糠の湯に三十分間ヂッと浸り、其から牛乳で顔を洗ひ、お湯から出て二十分間洗着いて其から鏡に向つて髪を直し、お化粧を終つて衣服を着換へる時丁度十二時の午砲が鳴

めるのはおかしいが勿體ないほどよい心掛の子でござりまする』と嬉し涙を流し、其から孫に向つて、

のう孫よ、お祖母さんは、是から極樂へゆきますよ、何にも申し置くことはないけれど、たつた一つ、此のお母さんの御恩を忘れるでないぞ。お祖母さんのお墓參りは忘れてもお母さんの恩を忘れてはならんぞよ。お祖母さんに代つて、此の恩報じをしてくれとくれ〴〵も頼み、其から手を合せ念佛をとなへ眠るように亡くなりました。

## □別れしまゝの心なりけり

鶴女は厚くお姑さんの靈を弔ひ、御兩親の墓參を怠らず、能く家を治めて居りましたが、軈て孫に嫁を取らせ、始めて幸福の生涯に入りました。然し尙家の爲に甲斐々々しく働き、老の身の迫るを覺えぬようでありました。

月日は流れ〳〵て、鶴女は七十歲になりまして、老の病に罹りましたが、其の臨終の際に息子夫婦を枕許に近よせまして、

私は十六歲の時に夫に別れ、七十歲の今日まで、一度も男の手から物を受取つたことはありませぬ、お和尙樣でも、お盲目でも近



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ゐるさうです。

### ○女の鏡に向ふ時間

佛蘭西の或る統計家の調べた所に據りますと普通の女が一生涯に鏡に向ふ時間は六歳から鏡を使ひ始め、六歳から十歳迄は毎日七分間十一歳から十五歳迄毎日十五分間、十六歳から十九歳まで毎日二十分間、二十歳から一時間以上、六十歳となると一日に十分間も鏡に向はない様になるさうです。之を合計しますと、佛蘭西の女は一生の中七千時間丁度一年ばかりの間鏡に向つてゐることになります。

### ○岡眼八目

少しも碁の解らぬ人が、碁をしてゐる人の側に座つて、

端の石があぶない／＼

と申します。打つてゐる人は、どうしてもあぶない譯が解らず、どうしてあぶないかと聞きますと、

端の石が落ちかゝつてゐる

と申しました。

### ○半分は雪でムる

駿河の人で無闇に謙遜をする男がありました他國の人が大勢して

人はお國自慢をいふが、あなたは何事もへりくだりなさる、然し富士山丈は日本一でござりませう

と申しますと、

いや富士山は半分は雪でムる

づけません、私が死んだ後も、お前達二人して世話して呉れよ、十六歳でお別れした時には一所にお伴しようと思ふたが、御兩親も居られ、又お前もあることとて、今日まで生き長らへたのです然し其時に夫のお伴した心にて、朝夕夫のお位牌の前にて

今日までは長らふべしと思ひきや
別れしまゝの心なりけり

とお歌を手向けし、また姑舅の御位牌の前には

たらちねの道の教へ跡なくば
何につけても世に仕へまし

と手向けて參りました、今度いよ／＼極樂に赴いて、お三人の側にお仕へ致すことの出來ることは勿體ないことでありまするといつて眠りについたと申します。

## □婦人の鏡

二度の夫に仕へず、いつまでも操を守つてゐることを、斯様な場合に誰にでもすゝめることは、今の時代には、いろ／＼説がありませう然しながら鶴女の崇高の心は、多くの婦人の鏡とするに足ることと信じます



Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

大正七年の天長節の祝日に内務大臣から表彰された—

# 優良村鳥取縣西伯郡 大和村の處女會と談話會

□落葉拾ひ

大和村は戸數三百戸人口千六百八十九人を有し、風俗もよく、産業も發達して居る農村でありますが、此の村の處女會は婦人會に附屬して設けられ、毎年十二月から四月まで實業補習學校に通ひ、裁縫や作法等を習ひ、冬は料理、手藝、看護等の講習會を開いて、修養に努めて居ります。

會費を作る爲に、會員は休暇を利用して山の落葉を拾ひ集めたり、田の草とりの請負をしたりして、なるべく父兄の懐をいためない工風をして居ります。

□お米三升宛

談話會は村長の井上皎氏の主唱して作つたもので、明治四十二年から創め、今に至るまで繼續して居ります。談話會は毎月十五日に村の

# 誰にも出來るしみぬきの法

婦人記者

□汗のしみ拔き　新しいしみなれば、其處だけ摘んでざつと水で洗へば落ちますが、久しく經つたしみは少しのアンモニヤを水にとかして洗へばよく落ちます。

□油のしみ拔き　羅紗かフランネルを布き其上に油のしみた所をのせ、新しい筆に揮發油を含ませて塗りつけ其上に吸取紙をあてて油を吸取り、幾度も紙を代へて吸込ませ、其から鏝を少し熱くして吸取紙の上からあてると落ちます。もし油の香がつくならば湯氣の上にかざせばなほります。

□蠟と松脂のしみ拔き　小刀か竹篦で蠟なり松脂なり削つて取り、そこへ油をぬりつけ暫く乾かした上に揮發油を筆につけて塗りつけ吸取紙で吸取れば大抵は落ちます。



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

主な人達が集つて村の事を相談し合ふ會合で、農家ではお米を三升其の他の家では現金二十五錢宛を持ち寄り、是で御馳走をこしらへ大勢して食べ合ふのです。こうして相談し合ふのが一番たのしく、そうして相談がよくまとまるといふのが、村長さんの思ひつきであります。

## □甘酒三斗

又談話會は毎年神武天皇祭に、村の老人連を招待して敬老會を開き、いろ〱御馳走をする上に、神樂や娘踊をして老人連を喜ばせて居りますことは、床しいことであります。此日は村の按摩を三人聘んで、老人の肩や腰を揉ませ、歸りには、村の人力車三臺を買ひ切つて、老人を載せて宅へ送ることになつてゐることも、此村の敬老會の特色であります。

お土産として婦人會からハンカチーフ、青年會から杖を進上する外に有志からは紅白の餅三百、村長さんは毎年甘酒を三斗宛寄附されるさうであります。

尚此日老人が喜ぶのは、ぶだんお給仕して貰つてゐる村のお金持の奥さん達がお給仕役となつて、老人をいたわることであるさうです。村の老人を敬ひ貴ぶことは、老人の爲に喜ばしいことであるばかりでなく、其の土地の習はしをよくするうるわしいことであります。

□ペンキのしみ拔き　新しいしみは松脂と同じ方法でされます。

□乳と茶のしみ拔き　エーテル又はアンジンを藥屋から買つて來てしみのある所へ筆で塗つて、毛織物の上に置き、上から吸取紙をあてゝ吸はせれば大抵おちます。編物ならば幾分か痕が殘ることがあるから、其の時には海綿にアルコールを含せてそろ〱拭けばされます。

□小便のしみ拔き　アルコールの薄いのに少しの硝酸を加へてふけばされます。

□酒のしみ拔き　硼砂水に少しのアンモニヤを加へて其で洗へばよくおちます。

□鐵鏽のしみ拔き　一旦水で洗つて其部分に醋酸を塗り、其上を尚よく洗ふのです。然し強い藥でありますから、色物なれば石鹸とさリスリンとを混ぜて其をしみの所に塗り二三時間も置いて水で洗へばおちます。

□墨のしみ拔き　目白(鳥)の糞を塗つて洗ふとおちますが、一番造作ないのは飯粒を附けて洗ふのです。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

# お正月の遊び

お正月の遊びといへば、大抵雙六遊びか羽子つきか歌留多とりと相場がきまつてゐますが、それ等の遊びには是非共羽子板なり雙六なり歌留多なりを取揃へねばなりません。

然し此に書く遊びの數種は、殆んどそんな遊具を要せず、炬燵の中でも爐を圍んでゐても、そして又老人も子供も一緒に樂しく遊ぶ事の出來るものであります。

## □十二支廻し

此の遊びは、ゐるだけの人數で圓座をつくり、其の中の一人から子丑寅卯と十二支を順々に言ひ送るのですが、其の中の丑申戌だけは其の通りに言はず、「モー」「キヤツ〳〵」「ワン〳〵」といふのです。もしそれが間違へば其の人を負けさして、罰さして何か歌でも唄はせます。

## □合言葉

之れは一名を空山水とも言ひ、多人數圓座して其の中の甲が空と言へば乙は空飛ぶ鳥の名を答へねばならないのです。そして答へるとすぐ丙に山とか水とか言ひ掛けます。丙は山と言はれゝば獸の名を擧げ、水と言はれゝば魚類の名を擧げるのです。例へば山と言はれたら狼と答へ、水と言はれたら鮒とか鯛とか答へるのです。そして又丁に空山水の何れかを問ひ掛けるので、もしその答にまごつくか、又は空へ水の返答すれば其の人を負さします。又時々之を順番に問ひ掛けずに指名して問うのも面白いでせう。

## □重ね言葉

之も先づ圓座します。そして早口に次の樣な文句を間違はず、何遍とか回數をきめて繰りかへし、満足に言ひ終るとまつて次の人がそれに代ります。之を首尾よく言ひとげれば勝で、間違へば負となるのです。

△長持の上に生米七粒△赤屛風白屛風△茶釜赤合羽△長卷紙赤卷紙△扇に卵△向ふの生壁に生竹を立てかけた△向ふの格子に竹立てかけた△辨慶の元服源兵衛の元服△生米生麥生卵△坊主が屛風に坊主を上手にかいた△向ふの古桃の木へ古ほろが下つた△讃岐の金比羅狸の金玉ゐの子の巾着

## □盲人遊び

此の遊びは炬燵の中では出來ないが、先づ一人を目隱して中央へ座らせ、他の者は其の周圍に座つて一同で唱歌でも歌ひ、其の間に盲人に知れない樣互に場所をかへます。そして歌が終りますと盲人は誰か一人を捕へて動物の名をいひます。すると捕まつた者は、其の動物の聲を作り聲で出します。盲人はその聲から判斷して誰々さんと名をあてるのですが、うまくあてられた人は代つて次の盲人



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

となります。

□顏の盲がき

此の遊びは數人が順次に目隱して顏の合作をするのです。先づ甲が目隱して顏の輪廓をかくと次に乙は目隱して右の眼をかき、かくて次から次へと順々に目隱して鼻、左の目、眉、口、耳とかいてゆきます。目隱してかくのですから、眼が顏の外へ飛び出したり口が鼻の上へ重つたり、目の下に耳がぶらさがつかり隨分奇妙な繪が出來ます。然し目隱してかく人が、變な處へ筆を運びましても、他の人は笑つたり聲を出したりしてはなりません。

□雷遊び

之は一人の人が目隱した上で雷になり中央に座ると、他の者は其の周圍に圓く座ります。やがて雷が茶碗を一人の人に渡してゴロ／＼ゴロ／＼と絶えず口で唱へます、其間に周圍の人は順々に次から次へと茶碗を運ぶのです。かくする中に雷はよき程合を見計つて「ピシャリ」とか「ドン」とか落雷の音をさせるのですが、周圍の人は落雷と共に茶碗を渡す事をやめ、その時にもつてゐた人が負となるのです。茶碗の代りに何を用びてもよろしいが、出來る限り、渡し易い品物を選ばればなりません。

□歌つくり

之は少しく高尚な遊びで、又人數にも制限がありますが、俳句とか和歌とか川柳とか狂歌といふ樣なものを、題も出さず、各々勝手に作つてそれをまとめて讀み上るのです。勿論その時甲が上の句を作り乙が下の句を作るといふ樣にはきめて置かればなりません。之には負勝ちをきめる事は出來ませんが、然し中々に面白い遊びであります。

□カルタ伏せ遊び

最後にカルタ遊びの中の變つた伏せ遊びに就て書きませう。先づ之は人數に應じて幾枚づゝ宛かのカルタを平均に配付し、各自はその札を充分記憶して全部裏を出して伏せ置きます。そして讀み手が讀み上げた札を持つてゐる人はそれをめくつて出すのです。もし誤つて開け損へば他の者から罰として一枚か二枚かの札を渡され、又巧みに開け當れば次の者へ二枚か三枚かを送り、そして早くなつた者を勝とします。

□福引

福引はお正月の處女會の餘興に面白くあります、福引の本もありますが、皆樣お考なさる方が興味があります、處女會の精神として質撲（質樸）など面白いでせう。

カツくじもよいのですが、あたつた人には、もう一本引いて貰はねばいけません。「富士の白雪」といふくじで、解けやらぬといひながら時計をみせびらかせるのもをもしろく、濱の松風として、馬穴をたゝいて「鳴るばかり」是も滑稽です、記者がある會で「春の夕ぐれ」をひきましたら「くれさうでくれない」と申されました、大笑ひでありました。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女新聞社發行

## 論説

處女新聞が皆樣のお手に入るのはお正月でせう。お正月になつたつもりで、皆樣お目出度う、處女會お目出度う。處女新聞もとつて二歳になりました。本年は殊に皆樣の御贔屓を願ひます。

新年となつたとて、特に申し上げることもありませんが、今年は戰爭が終つてからの第一新年で、羊の年。羊はおとなしいすなほなけもの、皆樣は益々智德をみがき、身體を丈夫にし、立派な妻となり母となる心と身の支度をしなければなりません、又處女會を盛んにして、之に依つて、社會的の智識をも深く養ふことが必要であります。

## 處女會訪問

記者は先頃群馬縣勢多郡木瀬村の處女會のお招ぎに預りました。大變よい村で、私は私の村に歸つたような氣がしました。青年會の役員が處女會の相談役になつてゐますのも、なつかしいことで、私が前橋停車場につきますと、役員の方が、「處女會員の代理にお迎ひに來ました」と言はれました。何んでもないことのようですが、うれしかつたのです。青年會員の姉さんと妹さんが處女會員ですから青年會と處女會とは兄妹です。お家へお歸りになれば、みんなひとつお膳でめしあがる、會はたいへん盛でした。處女の方が青年を案内し、青年が處女をいたわる樣子が、たのもしくありました。

信用組合で名高い野中部落の談話會をも拜見し、其夜は深谷さまのお宅に御厄介になりました。皆樣のお村の處女會にもなるべく伺ひたく思ひます。近い所でしたら、飛んで參りますから知らせて下さい。

## 氣の毒な獨逸

獨逸はさう〳〵まけましたが、あちらのことをよく知つてゐる人に聞きますと、生れる赤坊に滿足な子は少く、爪がなかつたり、目が見へなかつたりする赤坊が多いさうです。胎敎といつて、産婦は氣をおちつけて、行を正しくすべきでありますのに、國が亂れてゐた爲に、心は荒々しくなり、營養は十分にされず、夫の安否は氣づかはれるし、子供を育てながら、勞働をもせねばならぬし、こんな心配最中に生れた赤坊ですから弱いのでせう。政府で人口が減るといつて、好まぬ男に無理に嫁入をさせた地方もあると申します。

處女會をつくつて、立派なお嫁になる支度をしてゐらつしやる皆樣は、ほんとうに仕合せであります。

## 農村氣樂ぶし

麥のおまゝも働き食へば、胸につかへず氣が樂な
親の氣やすめ手足でつとめ、笑顔みてゐりや氣が樂な
なんぼ貸手があらうと金は、借りておかぬが氣が樂な
主の短氣も私のわるさ機嫌直れば氣が樂な
雪踏穿くより草鞋を穿けば足が輕うて氣が樂な
馬車にのるより歩いた方がをそいけれども氣が樂な
きれいな着物を着てさへゐればほこり仕事も氣が樂な



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

# 處女文壇

**入賞**

## ○田舍の樂しみ

群馬縣勢多郡木瀬村　山口みね

田に畑に暑さ寒さも厭はず、終日勞苦に身を働すは、農家の常であります。こういひますと田舍は唯無趣味な所、田舍人はつまらぬものとしか思へませんが、其の人知れぬ奥にひそむ所に樂しみがあるのであります。

たとへば、身をこがすやうな夏の炎天に、桑摘みを終へて歸る時又は取入れにいそがしき秋の夕、田より歸る道すがら高天に清く輝く月を眺めながらさびしげな、しつとりした歌などを口ずさむ時など、身はいつか天國にあるが如き感じがします。是も田舍の外に得られぬ樂しみであります。

又其日の業を終へ、入浴などして、書物を手にするのも一つの樂しみとなつて、日々の家業に勵みが出るのであります。そうして一家揃つて正月を迎へる時が一番の樂しみであります。

(評)　大變よく出來て居ります。さびしいしつとりした歌のあたり殊に心をひきます

## ○都のお友達に

福島縣安積郡片平村　星のぶ

花子樣此の頃はいかゞですか、おすきの道に進んでゐらつしやつてさぞおたのしいでせう。私は草深い田舍に……お羨しいわ、時勢には後れ、皆樣とは話も合はなくなる事かと、自分の身が悲しくなります。けれど考へて見れば、都にすめば、雑念も起さず、母の膝下に暮らすことが出來て、仕合もあります、私もつとめます。あなたもお厭ひなすつてお勉めあそばせ。

(評)　花子さんの御返事をもみせてください。

## ○姉さん冠り

尾張知多郡横須賀小學校　水野きく

一片の雲もみつからず、すみきつた空である。今しも黄金色みのつた稻田へ雀が舞ひ下りると、鳴子がなる。驚いた雀は電線に鈴なり。そして喧しく鳴き出した。鉢巻と白手拭の姉さん冠りが、あちらこちらで稻刈最中だ。手に持つ鎌が秋日にちらつく重さうに稻を積んだ車が來た。「賑によいお天氣樣だね」とお爺さんは笑つて通り去つた。あれは何處やらのお爺さんだつたわ。

(評)　秋の田舍の景色がよく現れて居ります。此外よく出來てゐましたのは、秋の樂しみ(竹内節)同(大久保美代)都の友に(勝か美)

## 評者より

まだ田舍が忙しかつたのでせうか、投書は少くなりました。お正月には澤山送つて下さい。鉛筆でも筆でもかまひません。飾らずいつはらず、心のまゝをかいてよこして下さい。手紙文でもよいのです。紙は半紙でも、はがきでもかまひません。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

# 懸賞處女文藝募集

## 第一種

處女文藝（題随意二百字以内）
和　歌（題随意一人三句）
俳　句（題随意一人三句）
習　字（「よく學びよく遊べ」半紙一枚）
笑　話（題随意一人一話）

## 第二種

□各地處女會の寫眞及消息
□田園生活の感想
□田舎より見たる都會
□東京見物の感じ
□有利なる副業内職
□地方篤志婦人の事績

## 第三種

處女倶樂部（はがき一人一通）
衛生問答（一人一題）
處女問答（一人一題）

## □處女くらぶ

處女くらぶは皆様の談話會です誰でも御入場随意皆様大勢してゐらつしやい（記者）△處女會中央部の成立を祝し、御發展を祈ります（新潟縣某氏）△處女の友何んといふなつかしい雑誌でせう私の村では一册づゝ購讀する事になりました皆様本誌を立派に育てようでありませんか（群馬縣木瀬村一愛讀者）△處女の友一號の「地方處女會員諸姉」といふ文で處女の友の目的がよくわかりました。私共の味方となつて下さる記者様に御禮を申し上げます（埼玉よし子）△貴誌當村補習學校女生徒及高女生徒にすゝめて居ります、作文二三お送り致しましたからおのせ下さい（尾張横須賀某氏）△處女會大會御開催の由協議事項承りたく候尚新宿御苑拜観相叶ひ候や（新潟某氏）記者曰く、未だ大會の運に達しません早く開催したくあります、其の節は無論拜観を願ひます。△一號の講談をよんで悲しくなりました（きみ子）△私の村の處女會の寫眞をお送り致しますが口繪にして下さいますか（某氏）記者曰く歡迎致します△私は一號から愛讀者になりました皆様誌上で御交際下さい（つゆ草）

## □前號判じ繪

一號の判じ繪の答は左の通りです。

都會にあこがれてはいけません

正しくあてた方が三百五十人ありました其の中記者がくじびきして、左の方々へ御ほうび差上げます、來月は次の考物をあてゝ下さい。

## □受賞者

滑かつ子（和歌山）松岡榮枝（愛媛）後藤靜枝（廣島）田部末野（島根）小幡靜子（兵庫）山際シツノ（京都）　鷲坂貞子（奈良）　夏目はつ子（靜岡）鹿野靜枝（宮城）秋山コウ子（福島）勝かつ美（千葉）　岡田ふさ子（東京）　露子愛雨（神奈川）宮澤しげ子（群馬）伊藤豐子（三重）

## □考へ物

（一）二間に三尺足りない鳥は

（二）百から十二を引くと日本人になくてならぬものとなりますなんでせう。

〆切一月十五日

あてた方には賞品をあげます。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

## ○編輯便り

□本誌が皆樣のお手許に參ります頃は、皆樣がたのしいお正月を迎へられて、お雜煮に飽いて居られる頃でせう。皆樣に面白い雜誌をお目にかけたいと思つて、私共は一生懸命になつて居ります。

□さて國家にとつて思ひ出多き大正七年を送り光り輝く大正八年を迎へることのうれしさ。年若い御婦人は、一年毎にたのしい運命が開かれるのですから、この二三年のお正月は生涯中でのたのしく、且つ思出深いものでなければなりません。其の代り責任も重いのです。昔の娘さんとは違ひますから、をやくお談義はやめませう。

□卷頭の　御聖德は、大森皇后宮大夫より親しく承つたお話で、どこの新聞にも雜誌にも出て居りませぬ。皆樣と共に御聖德を仰ぎませう。

□全國の皆樣がお待ち兼ねして下すつたものですから、「處女の友」はやすく\と安産し、方々から歡迎され、さうく\再版を致しました、毎日十數人づつのお友達が出來ることは、何より嬉しいことでございます。もつとく\お友達をお誘ひ下さい。東京を中心とした處女の大聯合を作らうではありませんか。日本の未來の母の同盟――なんといふ力強いたのしいことでせう。是からは、婦人の世界であります。婦人が立派になつて、男子と力を合せて文明を開き進めてゆかればなりません。

□投書は無理におすゝめはしませぬが、お正月に暇がありましたならば、規則をみてお送り下さい。文章といふから面倒になります、心に思つたことを筆で紙につづるのが作文です。又二月號から處女倶樂部を設けます。皆樣のお土地のこと、名物のことから、皆樣の感じたこと、雜誌のうわさ、誌友のたより、なんでもかまひませんから、なるべくはがきにかいてお送り下さい。誌上の御話し、なんといふ面白いんでせう。其の中に、ほんとうの會合をするようになりませう。

□新年號は、寶舟のようで載せきれないよいお話の種が澤山ありましたが、みな二月に廻しました。お正月には處女會もありませう、どうぞ大勢會員をつくり下さい。

□高知縣香美郡槇山村の間崎春子樣、廣島縣尾道柴原浦子樣、群馬縣勢多郡木瀨村深谷賢樹樣群馬縣女子師範學校篠原みやの樣には殊に御援助に預りました。水瀨村では、七十人の誌友が出來ました。記者のよろこびは、中央部のよろこびです。中央部の發展は處女會の幸福なのです。群馬縣勢多郡の一愛讀者として二十圓御寄贈下さつた方があります。封筒をあけると五圓札が四枚入つてをりました（書留でなく）手紙には中央部の主旨を大へんほめて下すつて、此を中央部の資金の一部にして下さいとしてありました、記者一同感動しました。

□舊正月の地方もありませうが、先づ到る處とり入れもすみ、お目出度いことです記者もお正月はふる里で迎へます。梅がチラホラ咲きそめ南天が赤く色づき、水仙か香りませう。もう記者の心は故里に飛んでゐます。終りに臨み皆樣のお家の方々の御健康を祈ります。

### 處女の友定價表

毎月一回十日發行

| 定價 | 一部 | 三ヶ月分 | 半年分 | 一年分 |
|---|---|---|---|---|
| 定價 | 拾參錢 | 參拾九錢 | 七拾六錢 | 壹圓五拾錢 |
| 郵税 | 壹錢 | 不要 | 不要 | 不要 |
| 合計 | 拾四錢 | 參拾九錢 | 七拾六錢 | 壹圓五拾錢 |

| 廣告料 | 一頁 | 半頁 |
|---|---|---|
| 特別面 | 貳拾五圓 | |
| 普通面 | 拾五圓 | 九圓 |

**注意**

◎御註文は總て前金の事、前金盡きたる節は封紙に「前金切」と捺印して通知に代ふ◎御送金は振替貯金が最も便利なり◎郵券代用は一割增のこと◎外國行は郵税實費を申受、

大正七年十二月二十日印刷納本
大正八年一月一日發行

發行兼印刷人　福島四郎　東京市牛込區津久戸町二十四番地
編輯人　天野藤男
印刷所　千代田印刷株式會社　東京市京橋區弓町十三番地

發行所　東京市牛込區津久戸町二十四番地
處女會中央部
電話番町一三〇六番
振替東京六一九〇番

大賣捌　東京堂、東海堂、北隆館、良明堂、至誠堂、上田屋、其他全國の主なる雜誌店



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○ミシン裁縫及びミシン刺繍は共に女子の職業に適し且つ最も家政に必要です
○ミシン刺繍は手縫の樣に胸部を壓迫したり視力をつかひ過ぎる等の虞があり
ません

# 生徒募集

通學寄宿とも女子に限る!!
規則書入用は郵劵貳錢!!

## 一ツ橋ミシン裁縫刺繍院

東京神田一ツ橋通町一六
（電話本局三五一一番）

○ミシン刺繍は仕事が神速なる上に寫生の妙に至つては到底手縫の及ぶ處であ
りません
○現今の婦人にしてミシン裁縫ミシン刺繍等の心得が全然なかつたら恐らく時
世の進運に後れるでせう

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

# 斯民

一部 貳拾錢　一年 貳圓四拾錢

- 英京雜觀 鳩の眼より……在英無名氏
- 救濟事業とは……丸山鶴吉
- 農業より觀たる米國……乘杉督學官
- 眼に訴ふる社會教育……棚橋源太郎
- 自治に對する疑問……平井良成
- 民育雜話……村田宇一郎

## 新年號

- 優良吏員の養成方法（第二回自治講習會に於ける實驗談）
- 思潮の動搖と教化……岡田前文相
- 近代思想の由來と其匡救……吉田文學博士
- 獨逸の屈服と其食糧問題……矢作法學博士

內務監察官 守屋榮夫著 （最新刊）

# 地方自治の精神

四六判函入美本　定價壹圓廿錢送料六錢

國家の基礎は地方に在り、されば地方の開發如何は國家興亡の依つて岐るゝ所也。著者は多年地方官としての經驗を有すると共に今や本省に入つて地方監察の任に膺り、地方自治の現狀に就て知る所最も深きものあり、繁劇なる公務の餘暇を以て慨然筆を呵して本書を成せり。されば地方自治を談ぜんとする者は必らず本書を一讀せざるべからず。

國版

愛知縣立農林學校長 山崎延吉先生著

# 婦人の覺醒

附錄 女房の善惡鏡

定價拾五錢　送料貳錢

內容一斑

▲女の一心▲公私二諦（公方面。私方面）▲婦人の三役（家政。育兒。趣味）▲婦人の四德（婦容。婦言。婦德。婦巧）▲婦人の五惡（附宗教の必要）▲女の六大事。自覺。修業（學）。就職。結婚。母務。姑勤）▲婦女に對する七大要求。（研究。常識の涵養。能率の增進。體育。趣味の養成。社交。經濟的なる事。）

發行所　東京市麴町區永田町一丁目　中央報德會　振替東京九七〇〇番

大正七年十二月二十日印刷納本
大正八年一月一日發行（毎月一回一日發行）
一部定價　金拾參錢
發行所　東京市牛込區津久戸町二十四番地　處女會中央部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN